

雁戸井地区土地改良事業変更計画書

農地整備事業（経営体育成型）

兵 庫 県
加 古 川 市

土地改良事業変更計画書

第1章	目	的	1	3 主 要 家 畜 頭 数	10
第2章	地 域 及 び 地 積		1	4 主 要 作 物 作 付 状 況	11
第1節	地 域		1	5 農 業 の 動 向	11
第2節	地 積		1	第6節 地 域 環 境 の 概 況	12
第3章	現 況		2	第4章 一 般 計 画	13
第1節	気 象 及 び 海 象		2	第1節 事 業 計 画 の 要 旨	13
1	一 般 気 象		2	1 要 旨	13
2	特 殊 気 象		2	2 事 業 別 面 積	13
3	海 象 (該当なし)		2	第2節 営農計画及び土地利用計画	13
第2節	土 地 状 況		3	1 営 農 計 画 の 概 要	13
1	地形、土壌及び浸食の程度		3	2 土 地 利 用 区 分	14
2	土 地 分 類 (該当なし)		3	3 作 付 方 式	14
3	土 地 利 用 の 状 況		4	4 生 産 計 画	15
4	土 地 所 有 の 状 況		4	5 労 働 改 善 計 画	15
第3節	水 利 状 況		4	6 級地別土地利用区分 (該当なし)	16
1	用 水 状 況		4	7 土 地 配 分 計 画 (該当なし)	16
2	排 水 状 況		6	第3節 用 水 計 画	16
3	河 川 状 況		8	1 計 画 基 準 年	16
第4節	道 路 現 況		9	2 計 画 か ん が い 方 式	16
1	道 路 概 況		9	3 計 画 用 水 系 統	16
2	主 要 道 路 一 覧 表		9	4 計 画 用 水 量	18
第5節	地 域 農 業 の 概 況		9	5 水 源 計 画	19
1	産 業 別 就 業 人 口		9	第4節 排 水 計 画	24
2	経営耕地広狭別農業経営体数及び 耕地の分散状況		10	1 計 画 基 準 雨 量	24
				2 計 画 排 水 方 式	24

3 計画排水系統	24
4 計画排水量	26
5 排水対策	26
6 湛水検討 (該当なし)	28
第5節 道路計画	29
1 道路及び索道	29
2 路線配置図 (該当なし)	30
第6節 農用地造成計画 (該当なし)	30
第7節 洪水調節計画 (該当なし)	30
第8節 干拓計画 (該当なし)	30
第9節 農用地整備計画	31
1 区画整理	31
2 暗渠排水	32
3 客土 (該当なし)	32
4 農地保全 (該当なし)	32
第10節 老朽ため池改修計画 (該当なし)	32
第5章 主要工事計画	33
第1節 用水施設	33
1 貯水池 (該当なし)	33
2 頭首工 (該当なし)	33
3 揚水機	33
4 用水路	34
5 その他かんがい施設 (該当なし)	36
第2節 排水施設	37
1 排水水門 (該当なし)	37
2 排水機 (該当なし)	37

3 排水路	38
4 その他排水施設 (該当なし)	39
第3節 道路及び索道	40
1 道路	40
2 索道 (該当なし)	42
第4節 農用地造成 (該当なし)	42
第5節 洪水調節施設 (該当なし)	42
第6節 干拓施設 (該当なし)	42
第7節 農用地整備施設	43
1 区画整理	43
2 暗渠排水	43
3 客土 (該当なし)	44
4 除礫 (該当なし)	44
5 農地保全 (該当なし)	44
第8節 老朽ため池改修施設 (該当なし)	44
第6章 附帯工事計画 (該当なし)	45
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	45
第8章 環境との調和への配慮	45
第9章 換地計画の概要	46
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	46
第2節 換地区の設定	46
1 換地区の名称、所在、面積	46
2 換地区を設定する理由 (該当なし)	46

第3節	換地計画樹立の基本方針	46
1	従前の土地の地積の基準	46
2	用途別予定地積	47
3	農用地集団化の方針	47
4	非農用地の換地方法	48
第4節	土地の評価及び清算の方法	49
1	評価の方法	49
2	清算の方法	49
第5節	換地計画樹立の年度計画	49
第6節	換地処分の時期に関する特則	49
第10章	事業費の総額及び内訳	51
第11章	効用	52
第12章	関連する事業	53
第13章	現況・計画図面	53
1	現況平面図	53
2	計画平面図及び土地利用計画図	53
3	主要構造図	53

第1章 目 的

1 目 的

加古川市は兵庫県の南部播州平野の東部に位置し、東は明石市、稲美町、西は高砂市、姫路市、北は加西市、小野市、南は瀬戸内海に面している。

地勢は市の南北を貫流する一級河川加古川によって堆積された沃野で、加古川を境にして北部は山を背負う起伏の少ない地形である。地質は一部に石英粗面岩があるが、沖積層と第3紀層が相半ばして形成され、土性は壤土が最も多く分布し砂壤土は少ない。気候は瀬戸内海気候に属し、温和で降水量は少なく降雪はほとんどない。台風は毎年数回襲来し、時には農産物に甚大な被害を及ぼす。しかし、概して生産活動には適した気候である。

加古川市では、農業経営の安定化と効率化をめざし、ほ場や老朽ため池、農道、用排水路など生産基盤の整備を進めるとともに、農地の流動化の促進や集落営農組織の育成などを図ってきた。また、農作物の高付加価値化への取り組みや環境にやさしい農業を展開するなど新たな栽培管理技術の導入を促進してきた。

本地区は、平成17年に農事組合法人「八幡営農組合」（R4.5株式会社 八幡営農）が設立され、地域農業の担い手として活動してきている。

しかしながら、都市化の進展にともなう農地の減少や後継者不足に加え、農業従事者の高齢化が進むなど、農業を取り巻く環境は厳しいものとなっている。

今後は、生産基盤の整備・保全を引き続き進めるとともに、多様な担い手の確保に努めるなど生産体制の充実、消費者の健康・安全志向に対応した農産物の生産を促進し付加価値の向上に努めるなど、農業経営の安定化を図り、農業の持続的な発展に向けた取り組みを進める必要がある。

そこで、この様な状況に対応するため、雁戸井地区面積87.6haに対し、ほ場整備を計画し、併せて上流水路（雁戸井水路）の整備をすることで、用水の安定供給と田畑輪換営農体系に可能な汎用耕地化を図り、水稻－野菜の輪換作付体系を確立し、水稻単作の経営から複合経営による収益性の高い経営に転換するとともに、農用地の集団化を図り大型機械の共同利用により農家個々の機械の過剰投資を抑制し、協業化の推進を図ることを目的として当農地整備事業を樹立したものである。

第2章 地域及び地積

第1節

地 域

(第1表)

事 業 名	地 域	備 考
農地整備事業 (経営体育成型)	＜兵庫県 加古川市 八幡町〔上西条・中西条・下村〕、神野町〔西条・神野・福留〕＞ 兵庫県 加古川市 八幡町〔上西条・中西条・下村〕	＜かん排区域＞ 区画整理地域

(令和6年3月現在)

第2節

地 積

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農地整備事業 (経営体育成型)	加古川市	＜17.6＞ 56.8	1.6	0.2	0.4	11.0	＜17.6＞ 70.0	かん排区域87.6ha(内単独受益17.6ha)、 ほ場整備区域70.0ha 計画地区現況面積

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観 測 所 名	三 木 観 測 所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観 測 期 間	S51年～H21年	6月～9月	10月～5月		
平 均 気 温	(℃)	22.1	8.8	13.9	
降 雨 量	平 均 (mm)	678	482	1,160	
	基準年 (mm)	—	—		該当年なし
降 水 日 数	平 均 (日)	49	52	101	
	基準年 (日)	—	—		該当年なし
根 雪 期 間		なし	なし		
無 霜 期 間		5月～10月	なし		
最 多 風 向			最大風速 17m/s/日 (風向) (南)		最多風向発生時期 月～月 最多風速発生年月日 2004年9月7日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	三 木	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
観 測 期 間	S51年～ H21年	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
最 大 日 雨 量	(mm)	154.0	S58.9.28	1/35	152.0	H16.9.29	1/30	146.0	H16.10.20	1/25	126.0	S63.6.3	1/20	126.0	S57.8.1	1/20
最 大 時 間 雨 量	(mm)	59.0	H20.7.8	1/35	57.0	H16.9.29	1/30	52.0	S63.8.20	1/20	47.0	S53.6.16	1/15	42.5	H21.7.19	1/10
最 大 4 時 間 雨 量	(mm)	109.0	S63.8.20	1/50	90.0	H16.9.29	1/17	82.0	H16.10.20	1/11	79.0	S57.8.1	1/10	78.0	H9.7.26	1/10
最 大 連 続 雨 量	(mm)	232.0	S58.9.24 S58.9.28	1/25	215.0	H16.10.19 H16.10.21	1/15	207.0	H18.7.16 H18.7.21	1/12	190.0	H5.6.28 H5.7.8	1/10	187.0	H21.7.19 H21.7.22	1/10
最 大 連 続 干 天 日 数	(日)	48	H7.11.21 H8.1.7	1/35	44	S63.11.24 S64.1.6	1/25	44	S61.1.5 S61.2.17	1/25	43	H11.11.25 H12.1.5	1/20	42	H10.12.8 H11.1.18	1/20

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
		1/300	1/300	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8° ~ 15°			15°	20°	計	最高	最低	
農地整備事業 (経営体育成型)	傾斜区分	未満	1/100	1/20	1/11.5	以上		未満	8°	8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°	15° ~ 20°	20° 以上				
	面積 (ha)	9.7	5.3	<17.6>	6.5		<17.6>	1.6							1.6	51.0	25.4	平均傾斜 1/40
	比率 (%)	17	9	62	11		100	100							100			

< >:かん排単独受益

(第4表-1-2)

項 目 土壤統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								堆 積 様 式	母 材	面 積 (ha.) 事 業 名 農地整備事業 (経営体育成型)	備 考 (土壤番号)
	土 壤 断 面											
	色	腐 植	礫 層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層				
					表土	下層土						
					一 層	二 層	三層					
グ ラ イ 土 壤 壤 土 (亜) 型					L	CL		含む		11.0	田・畑 E43	
黄 褐 色 土 壤 強粘土マンガン型					CL	LIC~HC		なし		30.2	田・畑 I80	
黄 褐 色 土 壤 粘 土 (亜) 型					L	LIC		なし		4.6	田・畑 I82	
礫 質 土 壤 粘 土 (亜) 型					CL	LIC~SCL		なし		7.1	田・畑 J91	
黄 褐 色 土 壤 壤土マンガン型					L	SCL~SC		なし		5.5	田・畑 I83	
計										58.4		

※ほ場整備区域内農地面積

2. 土地分類

該当なし

(令和6年3月現在)

(第4表-3)

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考 (ha)
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地整備事業 (経営体育成型)	加古川市	<17.6> 56.8	1.6	-	-	-	-	-	0.4	-	0.2	11.0	<17.6> 70.0	

(令和6年3月現在)

(第4表-4)

4. 土地所有の状況

事業名	区分	所有別	個人所有(田・畑)	その他	法人	市町村有	国(県)有	計	備 考
農地整備事業 (経営体育成型)	面 積 (ha)		<17.6> 58.4	4.0	-	1.6	6.0	<17.6> 70.0	<かん排単独受益地> 県営ほ場整備受益地
	受 益 者 数 (人)		<219> 258					<219> 258	<かん排単独受益地> 県営ほ場整備受益地
	筆 数 (筆)		<768> 814	12	183	69	151	<768> 1,229	<かん排単独受益地> 県営ほ場整備受益地
	権 利 関 係		所有権/耕作権						
	備 考 (関 係 戸 数)		<219> 258					<219> 258	<かん排単独受益地> 県営ほ場整備受益地

第3節 水利状況

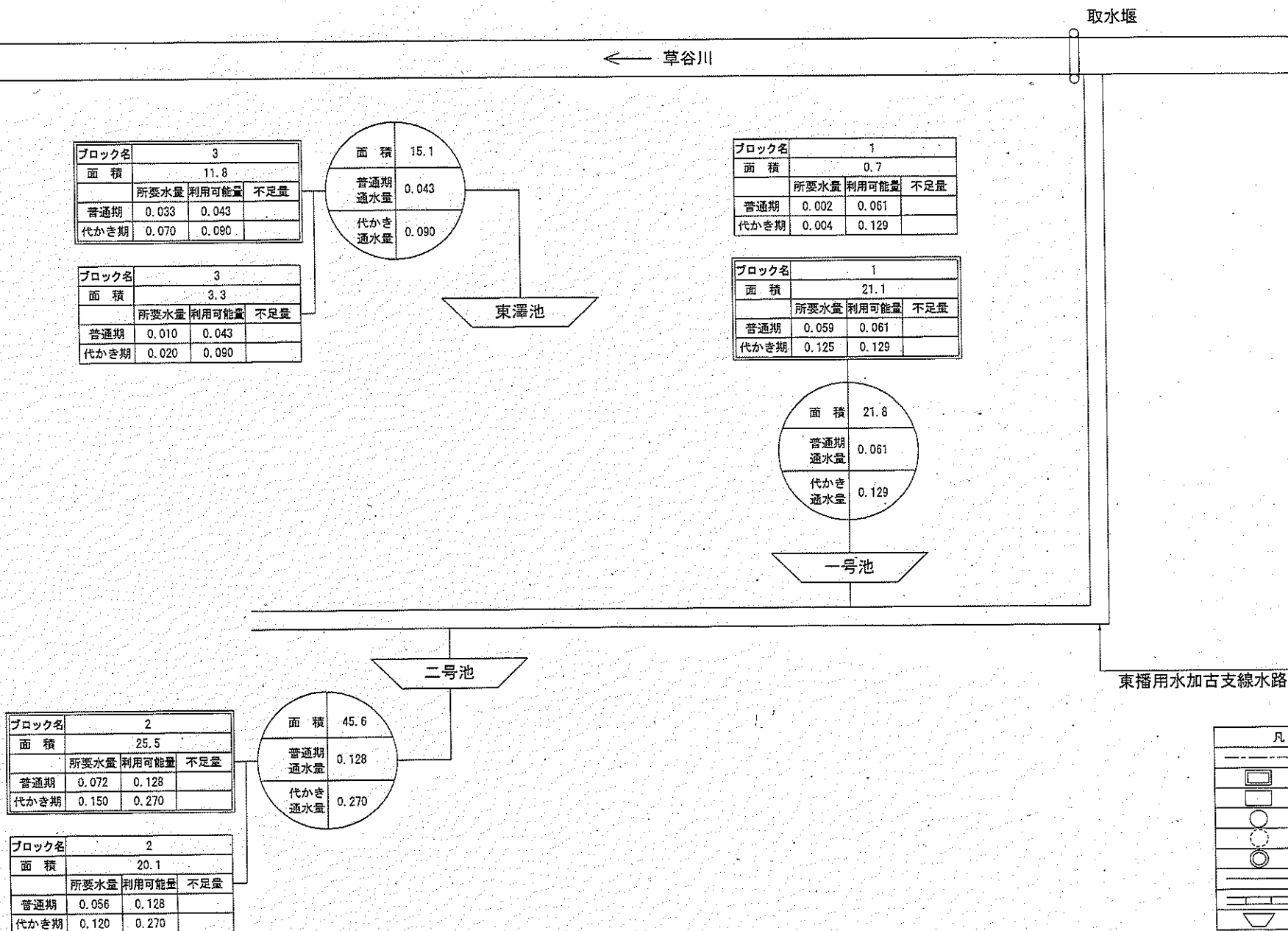
1. 用水状況

本地区は、1級指定河川草谷川に用水源を求めており、用水不足をきたすところは特にない。地区内の水路はコンクリート水路ではあるが、目地の破損、ひび割れ、欠損等により漏水がある。用水系統は依然として複雑な利水を行っている。

(1) 用水系統

次頁のとおり

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池					3	58.4	3	58.4	-	-	3	0.345	0.345	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					3	58.4	3	58.4	-	-	3	0.3450	0.3450	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	雁戸井水路	76.0	水路トンネル(素堀)	291 m	不明	地区の幹線用水路であるが、一部水路トンネル(素堀)のため、恒久的な構造物水路に改修し、用水の安定的供給を図る。	
	その他							
	計		76.0					

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

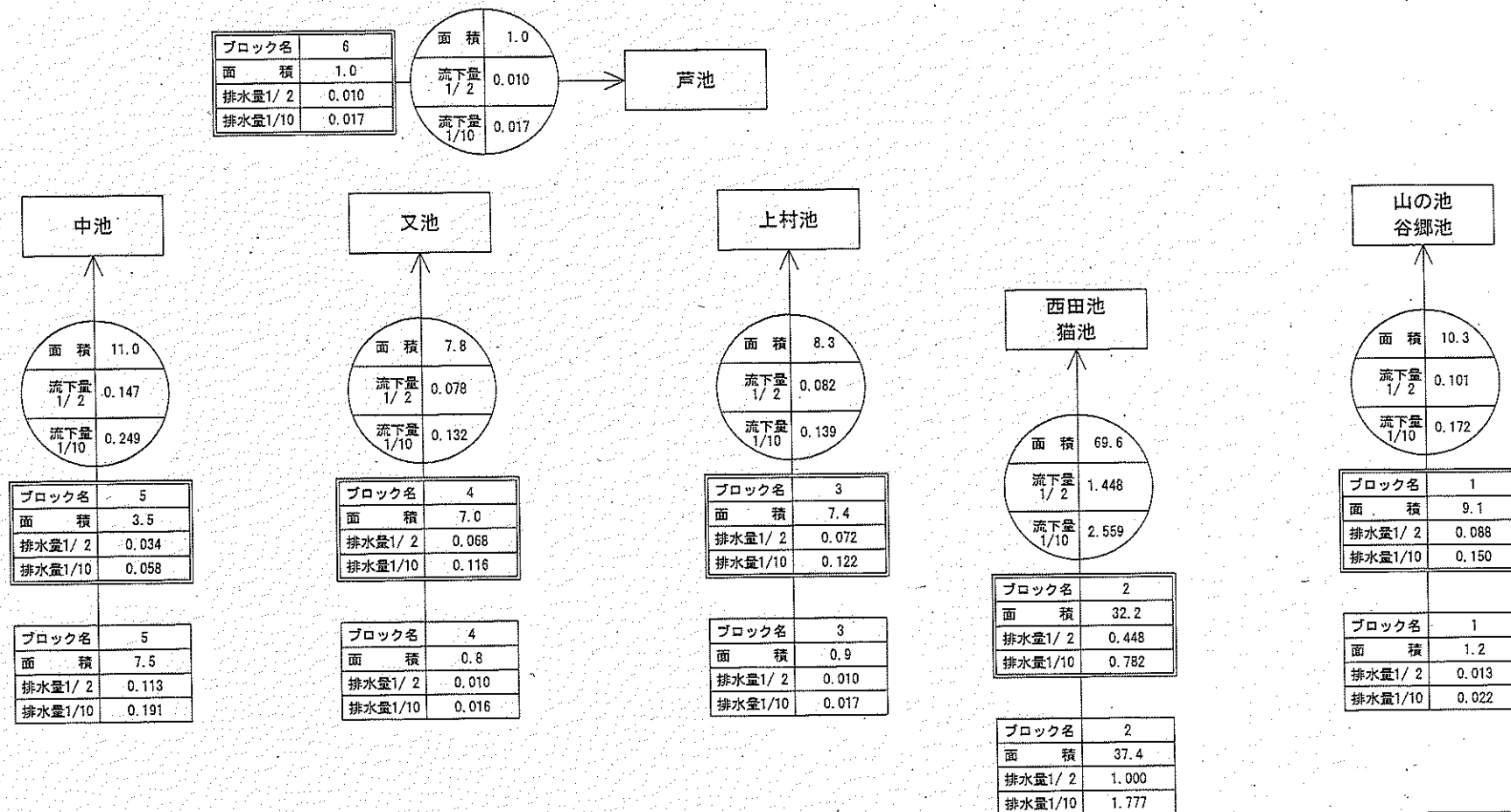
2. 排水状況

(1) 排水系統

次頁のとおり

現況排水系統模式図

← 草谷川



凡 例	
-----	地 区 界
□	地 区 内
□	地 区 外
—	本事業施工水路
—	他事業又は既設利用

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水		水面		積		計		排水慣行 (m^3/s)	現行排水能力 (m^3/s)	備考
			500ha以上		500～100ha		100ha以下						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路					6	60.2	6	60.2	池へ自然排水		
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路	支線排水路	60.2	コンクリート・土水路	0.3～1.0m	不明	区画整理による水路法線変更及び用排水分離のため	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
		計							

(3) 排水に関する被害状況

土羽断面で勾配も緩く、断面が狭いため排水不良を生じ、洪水時は湛水する。

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
草谷川	直線	1/800	ブロック積護岸	190	—	

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路概況

1. 道路概況

別添図面参照

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管 理 区 分 別	延長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
	主要地方道 神戸加古川姫路線	兵庫県	55,736	12	6	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

[令和2年国勢調査] (第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 水 気 道 ガ 給 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 (人)	金 融 ・ 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 業 (人)	そ の 他 (人)	備 考
加古川市	116,302	901	5	29	15	7,584	28,337	554	7,539	17,262	2,061	1,884	41,494	3,885	4,752	
比率 (%)	100	1	0	0	0	7	24	0	6	15	2	2	36	3	4	

2. 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

[2020年農林業センサス]

(第7表-2)

2. 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況																						
区分 市町村名	農 業 経 営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1 経営体当たり平均農用地面積 (ha)					備 考	
		0.3 ha 未満	0.3 〃 0.5	0.5 〃 1.0	1.0 〃 1.5	1.5 〃 2.0	2.0 〃 3.0	3.0 〃 5.0	5.0 〃 10.0	10.0 〃 20.0	20.0 〃 30.0	30.0 〃 50.0	50.0 〃 100.0	100.0 〃 150.0	150.0 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地		計
加古川市	945	26	399	380	67	19	23	14	7	5	1	1	1	1	1	1.2	0.0	0.0	1.2	—	1.2	
比率(%)	100	3	43	40	7	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	96	3	1	100	—	100	

3. 主要家畜頭数

[2020年農林業センサス]

(第7表-3)

3. 主要家畜頭数											
項目 市町村名	主 要 家 畜										備 考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		ブロイラー		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (百羽)	経営体数 (経営体)	数量 (百羽)	経営体数 (経営体)	
加 古 川 市	x	1	x	8	—	—	x	1	—	—	「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの 「-」は調査は行ったが、事実のないもの
100経営体 当たり数量(頭)	—		—		—		—		—		
飼養経営体数 割合 (%)	0		1		—		0		—		

〔令和4年作物統計〕（第7表-4）

4. 主要作物作付状況

市町村名	加古川市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)	2,280				2,280			
総本地面積 (ha)	2,186				2,186			
作物名 区分	作付面積 (ha)	単位面積当たり収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収 量 (kg/10a)		
水稻	1,060	548			1,060	548	48.5	R4作物統計
麦類	239	333			239	333	10.9	R4作物統計
かんしょ	—	—			—	—	—	
雑穀	—	—			—	—	—	
豆類	47	91			47	91	2.2	R4作物統計
野菜類	27	2,544			27	2,544	1.2	R3作物統計
果樹	—	—			—	—	—	
工芸農作物	—	—			—	—	—	
飼料作物	—	—			—	—	—	
その他	—	—			—	—	—	
計	1,373	—			1,373	—	62.8	
市町村別延べ作物率 (%)	62.8	—			62.8	—		

〔農林業センサス、作物統計〕（第7表-5）

5. 農業の動向

農 業 の 動 向															
項目 区分	農 業 経 営 体 ※1			土 地 ※1			主 要 作 物 ※2			大 家 畜 ※1			地域指定等	備 考	
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A			
と す る 指 数 の 状 況	変 化 の 状 況	農 業 経 営 体 数	79	57	耕 地	95	86	水 稻	92	83	乳 用 牛	50	-	農 業 振 興 地 域 加 古 川 市 指 定 昭 和 47 年 3 月 計 画 昭 和 48 年 4 月 野 菜 指 定 産 地 加 古 川 市 ・ 春 キ ャ ベ ツ 指 定 昭 和 54 年 度 ・ 冬 キ ャ ベ ツ 指 定 昭 和 41 年 度	A : 令 和 2 年 (2020 年) B : 平 成 27 年 (2015 年) C : 平 成 22 年 (2010 年)
		個 人 経 営 体 数	78	56	田	97	88	麦 類	75	91	肉 用 牛	157	-		
		団 体 経 営 体 (法 人) 数	189	289	畑	76	72	大 豆	76	51	採 卵 鶏	-	-		
		団 体 経 営 体 (非 法 人) 数	63	63	樹 園 地	55	45								
変 化 の 理 由		農 業 と 他 産 業 と の 収 益 格 差 に よ っ て 農 業 離 れ が 進 み、経 営 体 数 は 減 少 傾 向 に あ る。一 方、法 人 経 営 体 数 は 増 加 傾 向 に あ る。			耕 地 が 減 少 傾 向 に あ る の は、農 業 従 事 者 の 高 齢 化 に 伴 う 耕 作 離 れ 及 び 市 街 化 の 進 行 の 二 要 因 に よ る 水 田 の 転 用 (宅 地・道 路 等) に よ る と 思 わ れ る。			耕 地 面 積 の 減 少 傾 向 に 伴 い、水 稻、大 豆 と も に 減 少 傾 向 に あ る。一 方、麦 類 は 増 加 傾 向 に あ る。			近 年、酪 農 家 の 高 齢 化 に よ る 廃 業 等 に よ り 乳 用 牛 は 減 少 傾 向、一 方、但 馬 牛・神 戸 ビー フ の 需 要 拡 大 等 に よ り 肉 用 牛 は 増 加 傾 向 に あ る も の と 考 え ら れ る。			※ 1 農 林 業 セ ン サ ス ※ 2 作 物 統 計 「-」… 統 計 数 値 の 非 公 表 等 で、 変 化 の 状 況 把 握 が で き な い も の	

第6節 地域環境の概況

地域概況

加古川市は、兵庫県の南部播州平野の東部に位置し、地勢は市の南北を貫流する一級河川加古川によって堆積された沃野で、加古川を境にして北部は山を背負う起伏の少ない地形である。

地質は一部に石英粗面岩があるが、沖積層と第3紀層が相半ばして形成され、土性は壤土が最も多く分布し砂壤土は少ない。

気象

気候は瀬戸内海気候に属し、温和で降水量は少なく降雪はほとんどない。台風は毎年数回襲来し、時には農産物に甚大な被害を及ぼす。しかし、概して生産活動には適した気候である。

動植物

本市の植生状態は、市域の大半が水田となっており、平荘湖周辺の山地や市北部から西部にかけて広がる山々にモチツツジアカマツ群集、市域のごく一部にシバ群団が生育している。

市域北部を中心に、人と自然とが共生した里のビオトープが広がり、その中には絶滅が危惧されているカスミオオサンショウウオやギフチョウなどの貴重な野生動物も生息している。

また、市域南部のため池や湿地はオニバスやヒメコウホネ、ヒメタイコウチ、ダルマガエルなど貴重な野生生物の生息環境となっている。

そのほか、加古川及び平荘湖にはトモエガモ・ヨシガモ、市北西部にはイヌワシの生息が確認されている。また、ベッコウトンボやマダラナニワトンボ等が多く確認され、その分布は市北部に集中している。

景観

本市には、山なみや田園風景、歴史的景観、河川やため池等の多彩な水辺などのうるおいとやすらぎを提供する多様な観光資源がある。

近年のレクリエーションへの欲求の高まりなど、自然資源や歴史・文化資源に関する市民意識が高度化・多様化するなか、現状では必ずしもこれらの資源を十分に活かしているとはいえない状況にある。

今後は、「加古川市景観まちづくり条例」に基づき、景観形成地区等の指定や建築物、緑、歴史的建築物等の保全・活用など総合的な景観形成と市民による景観まちづくりを進めることが重要である。

加えて、良好な景観資源、得意な景観資源の有効利用に努めていく必要がある。

加古川市景観まちづくり条例

優れた景観を守り育てると共に、市民主体のまちづくりを推進することを目的としており、景観形成地区等における重点的な景観形成、景観形成重要物等の保全、景観を契機とした市民主体のまちづくりの推進などが制度化されている。

平成11年4月1日から施行

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

近年、農業を取りまく情勢は極めて厳しいものがあり、農家の大部分は第2種兼業農家のため、農業労働力の高齢化や後継者の確保難が問題となっている。農業の持続的な発展のためには、生産基盤の整備・保全を引き続き進めるとともに、多様な担い手の確保に努めるなど生産体制の充実、消費者の健康・安全志向に対応した農産物の生産を促進し付加価値の向上に努めるなど、農業経営の安定化を図る必要がある。

そのために当事業を実施し、区画形質の改善、用排水路、道路等の総合的な整備、点在耕地の集団化等を図り、近代的な機械化一貫作業を容易にし、水管理等を便利ならしめ、生産性の高い農業を展開する。

更に、省力化によって生ずる余剰労働力を活用して、米作偏重農業からの脱却に努め、農地の利用増進と担い手農家への集積等にも積極的に取組み、新しい農業構造を構築し、多様化する食糧需要への供給基地としての社会的要請に応える。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分		農 地 整 備 事 業 (経 営 体 育 成 型)							備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)		計 (ha)	
事業目的	用 水 路	<17.6>						<17.6>	
	区 画 整 理	51.2	2.2			16.6		70.0	
計	用 水 路	<17.6>						<17.6>	
	区 画 整 理	51.2	2.2			16.6		70.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

加古川市における農業振興の方向としては、集落営農組織を育成して、中核的農家を中心に共同、協業体制を推進し、作付、管理、集出荷等近代化、経営の合理化を進めることである。

また、生産基盤については、未整備地域の整備取り組み、生産性の向上を図ると共に、農業近代の施設についても集落営農の中で、共同利用機械施設の整備を図る。

当地区においても、上記に基づきほ場整備を実施し、八幡営農組合を中心として、農業経営から生産出荷までを総合的に推進する。
これにより、集団転作や集落営農組織による水稻の作業受委託を推進し、農業の振興を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
農地整備事業 (経営体育成型)	現 況	<17.6> 56.8	1.6				11.0	<17.6> 69.4	0.2	0.4		<17.6> 70.0	
	計 画	<17.6> 51.2	2.2				16.6	<17.6> 70.0				<17.6> 70.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農地整備事業（経営体育成型）	現 況	水 稻					○	—	△			×	—	×					○	—	△			×	—	×	○：播種 △：移種 ×：収穫	
		大 豆						○						×	—	×				○					×	—		×
		そ ば		—	×	×					○					×	×						○					
		キャベツ		—	×	×					○					×	×						○					
		大 麦		—				×						△					×						△			
		小 麦																										
	計 画	水 稻						○	—	△			×	—	×					○	—	△			×	—	×	
		大 豆							○						×	—	×				○					×	—	×
		そ ば		—	×	×						○					×	×						○				
		キャベツ		—	×	×						○					×	×						○				
		大 麦		—				×						△					×						△			
		小 麦		—					×						△					×						△		

(第9表-3)

4. 生産計画

生産計画																	備考
事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減 (ha)	10a当収量 増 (kg)	
農地整備事業（経営体育成型）	水田	表作	水 稻	29.4	27.1	△2.3	55%	55%	524	534	10	154.1	144.7	△9.4	△2.3	10.0	水管理改良
			そ ば	3.7	4.9	1.2	7%	10%	38	38	0	1.4	1.9	0.5	1.2	0.0	
			大 豆	8.0	10.8	2.8	15%	22%	94	94	0	7.5	10.2	2.7	2.8	0.0	
			はくさい	0.5	0.5	-	1%	1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0	
			キャベツ	0.5	5.9	5.4	1%	12%	3,590	3,590	0	18.0	211.8	193.8	5.4	0.0	
		裏作	大 麦	2.1	6.4	4.3	4%	13%	266	266	0	5.6	17.0	11.4	4.3	0.0	
			小 麦	3.2	9.8	6.6	6%	20%	268	268	0	8.6	26.3	17.7	6.6	0.0	
	普通畑	表作	はくさい	0.6	0.8	0.2	40%	40%	4,729	4,729	0	28.4	37.8	9.4	0.2	0.0	
			キャベツ	1.0	1.3	0.3	60%	60%	3,590	3,590	0	35.9	46.7	10.8	0.3	0.0	
			自己保全管理	11.2	-	△11.2	0%	0%	-	-	-	-	-	-	△11.2	-	
合計				60.2	67.5	7.3	90%	131%			10	259.5	496.4	236.9	7.3	10.0	

(第9表-4)

5. 労働改善計画

3. 労働改善計画

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農地整備事業（経営体育成型）	水田及び畑	水 稲	27.1	人 力	396.7	216.3	△180.4	
				機 械 力	212.0	118.7	△93.3	
		そ ば	4.9	人 力	52.2	47.7	△4.5	
				機 械 力	21.6	17.1	△4.5	
		大 豆	10.8	人 力	1,200.0	984.4	△215.6	
				機 械 力	665.0	532.2	△132.8	
		は く さ い	1.3	人 力	1,575.8	1,286.1	△289.7	
				機 械 力	348.9	107.1	△241.8	
		キ ャ ベ ツ	7.2	人 力	2,071.0	1,645.5	△425.5	
				機 械 力	252.5	111.6	△140.9	
		大 麦	6.4	人 力	218.5	76.9	△141.6	
				機 械 力	116.3	43.9	△72.4	
		小 麦	9.8	人 力	218.5	76.9	△141.6	
				機 械 力	116.3	43.9	△72.4	
合 計		67.5						

6. 級地別土地利用区分 該当なし

7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

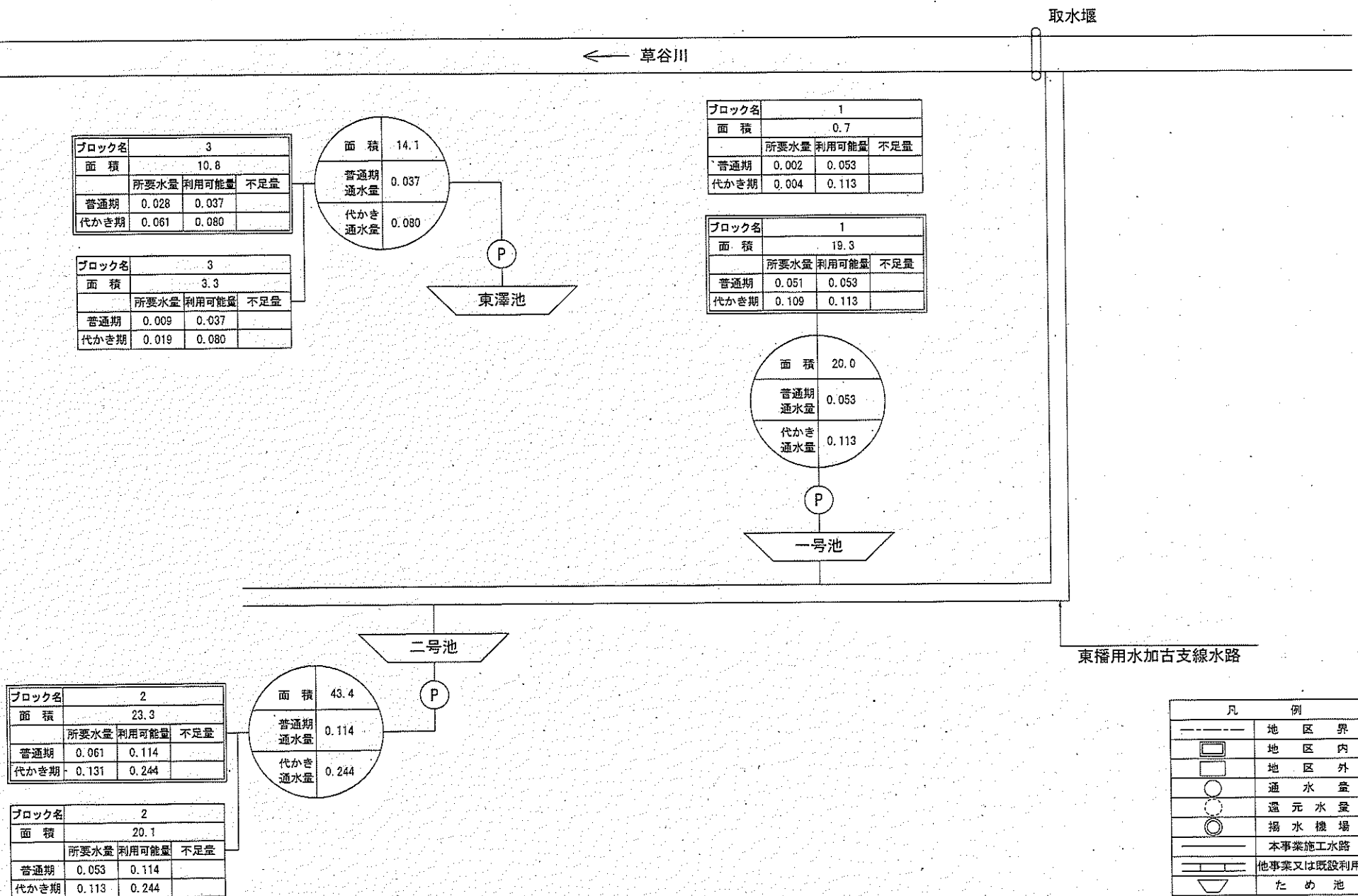
1. 計画基準年
平成13年 (有効雨量 1/8、連続干天日数 1/3、干天日数 1/3)

2. 計画かんがい方式

区 分	かんがい式	代 か き 期 間	間 断 日 数	かんがい期間	間 断 日 数	備 考
輪 換 田	たん水かんがい	6月13日～6月17日	5日	6月18日～9月30日	105日	
輪 換 畑	うね間かんがい	—		6月13日～9月30日	110日	

3. 計画用水系統
次頁のとおり

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名		種 別	面積(ha)	水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考 かん水効率
			事業名							水田かんがい			畑地かんがい					平 均	最 大	
			(農地整備 備成事業)	普通期	代かき期	面 積 (ha)	か1 日当 計画 水平 深均	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	普通期	代かき期	面 積 (ha)	か1 日当 計画 水平 深均	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)					
				単計 位画 用水平 量均 (mm/日)	単計 位画 用代水 か量き (mm)		単計 位画 用水平 量均 (mm/日)	単計 位画 用代水 か量き (mm)		単計 位画 用水平 量均 (mm/日)	単計 位画 用代水 か量き (mm)									
一号池	農業用水	19.3	-	-	-	4.0	5	0.5	19.6	150	10.3	4.0	5	8.5	0.098	10	0.051	0.109	70%	
東澤池		10.8	-	-	-	4.0	5	-	19.6	150	5.9	4.0	5	4.9	0.055	10	0.028	0.061	70%	
二号池		23.3	-	-	-	4.0	5	1.7	19.6	150	12.0	4.0	5	9.6	0.118	10	0.061	0.131	70%	
計		53.4	-	-	-	4.0	5	2.2	19.6	150	28.2	4.0	5	23.0	0.271	10	0.140	0.301	70%	

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分			消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水源依存量		水源 工種	備考
			a	b	c=a-b	d=c/(1-α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純 不 足 水 量	全 不 足 水 量	水源名	水量		
			(千m³)	(千m³)	(千m³)	(千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率: α
農地整備事業 (経営体育成型)	一 号 池	代掻	-	-	-	-	ため池	13	12	-	-	-	-	-	
		普通	-	-	-	-	ため池	116	103	-	-	-	-	-	
	東 澤 池	代掻	-	-	-	-	ため池	63	58	-	-	-	-	-	
		普通	-	-	-	-	ため池	569	506	-	-	-	-	-	
	二 号 池	代掻	-	-	-	-	ため池	32	30	-	-	-	-	-	
		普通	-	-	-	-	ため池	293	262	-	-	-	-	-	
	計	代掻	-	-	-	-		108	100	-	-	-	-	-	
		普通	-	-	-	-		978	871	-	-	-	-	-	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km^2)		かんがい面積 (ha)	純貯水量 (km^3)	利用貯水量 (km^3)	利用回数 (回)	最大貯水量 (m^3/s)	備 考
	直接	間接	農地整備事業 (経営体育成型)					
一 号 池	0.09	-	19.3	360	-	-	-	既設利用
東 澤 池	0.11	-	10.8	420	-	-	-	既設利用
二 号 池	0.07	-	23.3	30	-	-	-	既設利用

(イ) 井堰及び自然取水口

該当なし

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)	所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
		事業名	最 大	平 均	実 揚 程 (m)	揚 水 量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
		農地整備事業 (経営体育成型)							
一号池揚水機場(北)	一号池	4.9	0.0287	0.013	4.1	0.0287	φ150 2台	0.0287	水中ポンプ
一号池揚水機場(南)	一号池	14.4	0.0843	0.040	2.1	0.0843	φ150 2台	0.0843	水中ポンプ
東澤池揚水機場	東澤池	10.8	0.0800	0.037	11.5	0.0800	φ150 2台	0.0800	水中ポンプ
二号池揚水機場	二号池	23.3	0.2440	0.114	3.4	0.2440	φ150 2台	0.2440	水中ポンプ

(エ) 用水路

(第10表-6)

路線名 項目	断面	延長 (m)	制水工 (箇所)	空気の (箇所)	排泥工 (箇所)	備考
第1号支線用水路	VUΦ300	132.4	0	0	0	
第2号支線用水路	VUΦ75	99.1	0	0	0	
第3号支線用水路	VUΦ150	5.0	1	0	0	
"	VUΦ100	116.4	0	0	0	
第4号支線用水路	VUΦ300	139.5	1	1	0	
"	VUΦ250	69.0	1	0	1	
第5号支線用水路	VUΦ200	0.7	0	0	0	
"	VUΦ150	25.7	1	0	0	
"	VUΦ100	100.4	0	0	1	
第6号支線用水路	VUΦ250	281.9	3	0	1	県道横断工99.4m
第7号支線用水路	VUΦ250	28.0	0	0	0	
第8号支線用水路	VUΦ250	52.6	0	1	0	
第9号支線用水路	VUΦ200	37.1	1	0	0	
"	VUΦ150	42.2	0	0	0	
"	VUΦ100	58.8	0	0	1	
第10号支線用水路	VUΦ150	9.7	1	0	0	
"	VUΦ100	1.0	0	0	0	
"	VUΦ75	41.5	0	0	0	
第11号支線用水路	VUΦ250	118.2	1	0	0	
第12号支線用水路	VUΦ150	53.5	1	0	0	
"	VUΦ100	8.5	0	1	0	
第13号支線用水路	VUΦ250	76.8	0	0	1	
第14号支線用水路	VUΦ250	1.0	0	0	0	
"	VUΦ200	166.7	1	1	0	
"	VUΦ150	41.6	0	0	0	
"	VUΦ100	102.7	0	0	0	
第15号支線用水路	VUΦ250	171.9	1	1	0	
"	VUΦ200	7.4	0	0	0	
"	VUΦ150	16.1	0	0	0	
"	VUΦ100	85.5	0	1	0	
"	VUΦ75	11.0	0	0	1	
第17号支線用水路	VUΦ250	258.0	0	1	0	
第18号支線用水路	VUΦ250	112.0	1	0	0	
"	VUΦ200	68.0	0	0	0	
"	VUΦ150	51.0	1	0	0	
"	VUΦ100	133.0	1	1	0	
"	VUΦ75	236.0	0	0	0	
第18-1号支線用水路	VUΦ150	37.0	0	0	0	
"	VUΦ100	1.0	0	0	0	
"	VUΦ75	62.0	0	0	0	
第19号支線用水路	VUΦ250	345.0	1	1	0	
第20号支線用水路	VUΦ250	6.0	1	0	0	
"	VUΦ200	1.0	0	0	0	
"	VUΦ150	1.0	0	0	0	
"	VUΦ100	46.0	0	0	0	
第21号支線用水路	VUΦ200	370.7	1	0	1	DCIP:L=91.7m
第22号支線用水路	VUΦ200	2.0	1	0	0	
"	VUΦ150	32.8	0	1	0	

路 線 名	項 目	断面	延 長 (m)	制水工 (箇所)	空気工 (箇所)	排泥工 (箇所)	備 考
"	"	VUΦ100	121.0	1	0	1	
第23号支線用水路	"	VUΦ150	60.9	1	1	0	
"	"	VUΦ100	60.9	0	0	0	
"	"	VUΦ75	21.9	0	0	0	
第24号支線用水路	"	VPΦ300	111.0	0	0	0	
"	"	VUΦ300	62.0	0	0	0	
第25号支線用水路	"	VUΦ300	370.0	0	1	0	
"	"	VUΦ250	46.0	0	1	0	
第26号支線用水路	"	VUΦ250	53.0	1	0	1	
第27号支線用水路	"	VUΦ200	131.0	1	1	0	
"	"	VUΦ150	59.0	0	0	0	
"	"	VUΦ100	64.0	0	0	0	
第28号支線用水路	"	VUΦ250	2.0	0	0	0	
"	"	VUΦ200	177.8	1	1	0	DCIP:L=50.2m
"	"	VPΦ200	63.7	0	0	0	
第29号支線用水路	"	VUΦ200	0.6	0	0	0	
"	"	VUΦ150	177.2	1	0	0	
"	"	VUΦ100	1.0	0	0	0	
"	"	VUΦ75	1.0	0	0	0	
第30号支線用水路	"	VUΦ150	93.3	1	0	0	
"	"	VUΦ100	0.3	0	0	0	
"	"	VUΦ75	79.2	0	0	0	
第32号支線用水路	"	VUΦ250	54.0	1	0	0	
第33号支線用水路	"	VUΦ250	50.0	1	1	0	
"	"	VUΦ200	116.0	0	0	0	
"	"	VUΦ150	1.0	0	0	0	
第34号支線用水路	"	VUΦ250	2.0	0	0	0	
"	"	VUΦ200	466.5	1	3	0	
"	"	VUΦ150	209.2	0	2	1	
"	"	VUΦ100	133.6	0	0	0	
第34-1号支線用水路	"	VUΦ200	2.5	0	0	0	
"	"	VUΦ150	4.1	0	0	0	
"	"	VUΦ125	86.7	1	0	0	
第35号支線用水路	"	VUΦ250	472.1	0	1	0	
"	"	VUΦ200	68.6	0	1	0	
"	"	VUΦ150	129.6	0	0	0	
"	"	VUΦ75	16.9	0	0	0	
第36号支線用水路	"	VUΦ250	206.4	0	0	0	
第37号支線用水路	"	VPΦ100	5.2	1	0	0	
"	"	VPΦ75	46.6	0	0	0	
第38号支線用水路	"	VUΦ250	96.9	1	1	0	
第39号支線用水路	"	VUΦ200	7.2	1	0	0	
"	"	VUΦ150	40.2	0	0	0	
"	"	VUΦ100	33.0	0	0	0	
"	"	VUΦ75	27.1	0	0	1	
第40号支線用水路	"	VUΦ200	7.4	1	0	0	
"	"	VUΦ150	79.9	0	0	0	
第41号支線用水路	"	VUΦ200	138.1	1	1	0	
第42号支線用水路	"	VUΦ100	16.0	1	0	0	

項 目 路 線 名	断面	延 長 (m)	制水工 (箇所)	空気工 (箇所)	排泥工 (箇所)	備 考
"	VUΦ75	32.0	0	0	0	
第43号支線用水路	VUΦ200	29.2	1	0	0	
"	VUΦ150	73.1	0	0	0	
"	VPΦ100	42.0	1	0	1	
"	VUΦ100	41.7	1	1	0	
"	VUΦ75	1.0	0	0	0	
第44号支線用水路	VUΦ250	343.0	1	2	0	
第45号支線用水路	VUΦ250	78.4	1	0	1	
第46号支線用水路	VUΦ200	64.4	0	0	0	
"	VUΦ150	45.1	0	1	0	
"	VUΦ125	0.8	0	0	0	
"	VUΦ100	65.8	0	0	0	
第47号支線用水路	VUΦ250	0.3	0	0	0	
"	VUΦ200	91.2	0	0	0	
"	VUΦ150	27.8	0	1	0	
"	VUΦ125	50.5	0	0	0	
第48号支線用水路	VUΦ250	68.4	0	1	0	
第49号支線用水路	VUΦ200	0.5	0	0	0	
"	VUΦ150	47.9	1	1	0	
"	VUΦ125	120.7	0	0	0	
"	VUΦ100	44.1	0	0	0	
"	VUΦ75	38.0	0	0	1	
第50号支線用水路	VUΦ250	204.7	1	1	0	
第52号支線用水路	VUΦ250	160.0	0	0	0	
第53号支線用水路	VUΦ250	9.0	1	0	0	
"	VUΦ200	51.0	0	0	0	
第54号支線用水路	VUΦ150	125.0	0	0	1	
第55号支線用水路	VUΦ150	45.0	0	0	0	
"	VUΦ100	47.0	0	0	0	
第56号支線用水路	VUΦ150	72.0	1	1	0	市道横断L=6m
第57号支線用水路	VUΦ100	73.0	0	0	0	市道横断L=23m:VP管
"	VUΦ75	8.0	0	0	1	
第58号支線用水路	VUΦ150	55.0	0	0	0	市道横断L=2m
"	VUΦ100	29.0	0	1	0	
合 計		10,322.6	46	35	16	
支線用水路 〔内訳〕	VUΦ75	674.7	0	0	4	
	VUΦ100	1,360.7	4	5	3	
	VUΦ125	258.7	1	0	0	
	VUΦ150	1,660.9	10	8	2	
	VUΦ200	2,005.6	11	8	1	
	VUΦ250	3,366.6	17	12	5	
	VUΦ300	703.9	1	2	0	
	VPΦ75	46.6	0	0	0	
	VPΦ100	70.2	2	0	1	
	VPΦ200	63.7	0	0	0	
	VPΦ300	111.0	0	0	0	
雁戸井水路	BOX 2000×1500	291.2				

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水質水温
かんがい用水として利用するうえで支障はない。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日 雨 量	137 mm/day	(1/10年確率)
基幹排水	17 mm/hr	(1/10年確率 4時間雨量)
末端排水	17 mm/hr	(")

2. 計画排水方式

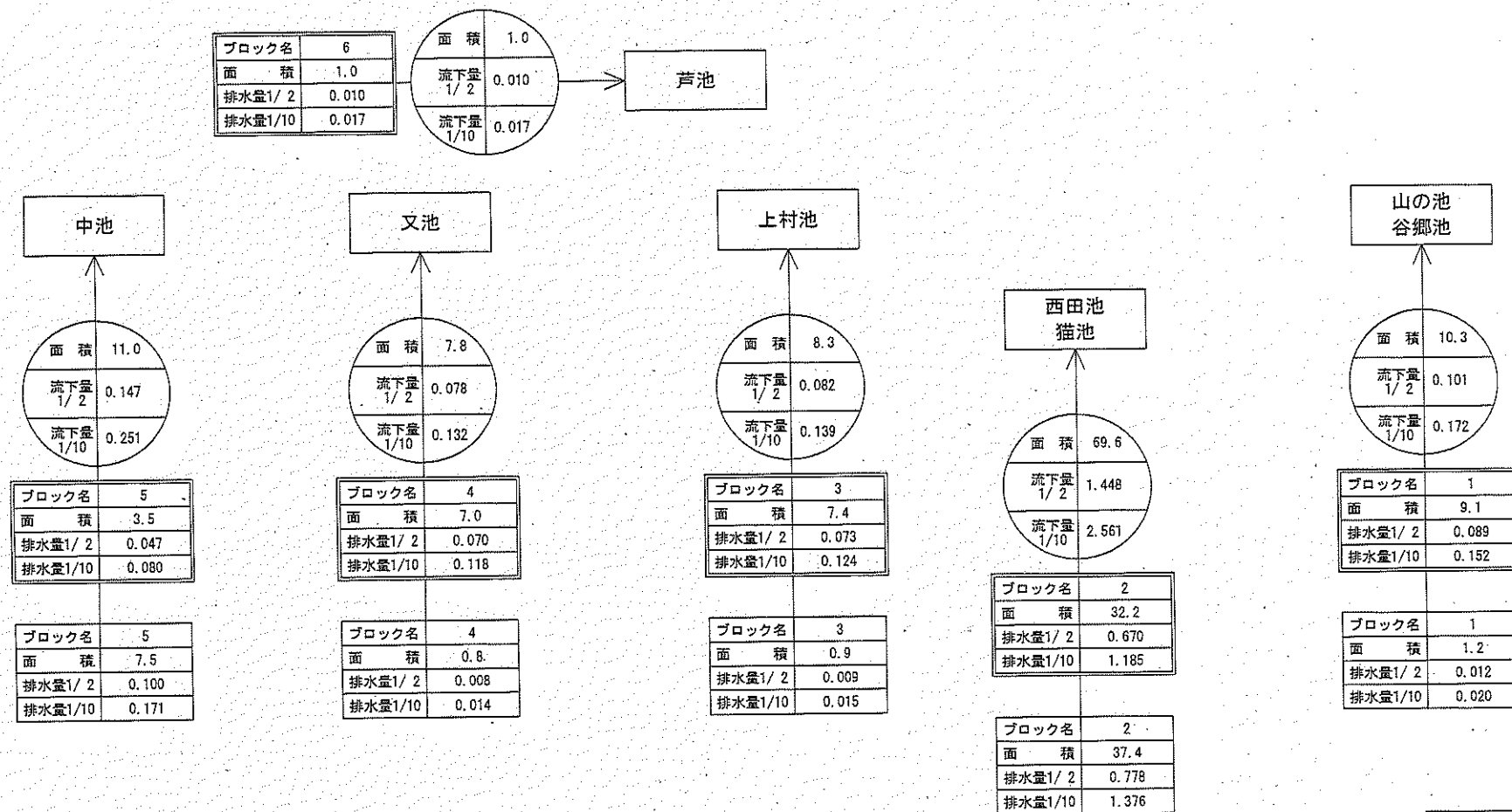
自然排水

3. 計画排水系統

次頁のとおり

計画排水系統模式図

← 草谷川



凡 例	
---	地 区 界
□	地 区 内
□	地 区 外
—	本事業施工水路
—	他事業又は既設利用

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	現 況				計 画												
	流 域 面 積 (km ²)			全排水量 (m ³ /s)	流 域 面 積 (km ²)								全 排 水 量 (m ³ /s)		単 位 排 水 量 (m ³ /s/km ²)		
	地区内	地区外	計		地 区 内				地 区 外				合 計	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水
					水田	畑	山林・その他	計	水田	山林・その他	計						
山の池・谷郷池	9.1	1.2	10.3	0.172	9.0	0.1	-	9.1	0.8	0.4	1.2	10.3	0.172	-	0.0167	-	
西田池・猫池	32.2	37.4	69.6	2.561	31.3	0.9	-	32.2	23.9	13.5	37.4	69.6	2.561	-	0.0368	-	
上 村 池	7.4	0.9	8.3	0.139	7.2	0.2	-	7.4	0.8	0.1	0.9	8.3	0.139	-	0.0167	-	
又 池	7.0	0.8	7.8	0.132	7.0	-	-	7.0	0.0	0.8	0.8	7.8	0.132	-	0.0169	-	
中 池	3.5	7.5	11.0	0.251	3.5	-	-	3.5	0.1	7.4	7.5	11.0	0.251	-	0.0228	-	
芦 池	1.0	-	1.0	0.017	1.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	0.017	-	0.0170	-	
計	60.2	47.8	108.0	3.272	59.0	1.2	-	60.2	25.6	22.2	47.8	108.0	3.272	-	0.1269	-	

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

路線名	項目	断面	延長 (m)	製品延長 (m)	暗渠工 (m)	鏡壁 (箇所)	落差工 (箇所)	柵工 (箇所)	法面保護工 (m)	付帯構造物
第1号支線排水路		BF250	93.4	71.3	12.2	0	14	2	81.0	素掘り水路
第2号支線排水路		BF250	4.6	4.0	0.0	0	0	1	5.0	1型放流工1式
第3号支線排水路		BF250	85.3	76.3	0.0	0	13	2	33.0	
第4号支線排水路		BF250	416.8	403.5	10.9	2	2	2	55.0	
第5号支線排水路		BF250	190.9	172.5	9.7	3	8	6	41.0	
第6号支線排水路		BF250	19.7	10.0	9.7	1	0	0	0.0	2型放流工
〃		-	0.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路
第7号支線排水路		BF250	13.4	12.8	0.0	0	0	0	3.7	延長 L=0.6mのみ記載
〃		現場打L型水路	29.8	0.0	0.0	0	0	0	0.0	
第8号支線排水路		BF250	109.1	97.0	10.9	2	0	1	0.0	1型放流工
〃		-	0.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路
第9号支線排水路		BF250	85.6	82.0	0.0	0	6	0	13.8	
第10号支線排水路		BF250	101.8	100.0	0.0	0	3	0	13.6	
第11号支線排水路		BF250	104.6	98.6	0.0	0	9	0	17.2	集水柵
第12号支線排水路		BF250	49.0	42.0	3.4	1	5	0	9.5	1型放流工
第13号支線排水路		BF250	110.7	95.3	8.5	0	8	3	36.5	3型放流工
第14号支線排水路		BF250	158.7	132.2	18.6	0	8	4	31.2	3型放流工
第15号支線排水路		BF250	83.8	79.3	3.3	0	0	2	12.8	付帯工 既設管φ100、1ヶ所φ100×100、キャップφ100
第16号支線排水路		BF250	109.7	103.8	0.0	0	2	0	7.3	1号環境配慮柵 5個
第17号支線排水路		BF600	289.5	254.2	20.2	4	5	1	22.6	支排17号流末処理工1式、2号環境配慮柵 11個
第18号支線排水路		BF300	295.9	291.1	0.0	0	5	3	34.6	付帯工 既設管φ200、付帯工 既設管φ100、2ヶ所キャップφ100
第20号支線排水路		BF250	63.7	49.9	0.0	1	0	1	12.5	4号放流工
第21号支線排水路		BF250	49.5	45.9	0.0	0	6	0	12.0	
第22号支線排水路		3AP500×800	347.1	324.0	21.9	4	0	0	0.0	5型放流工1式、支排22号合流工1式
第23号支線排水路		3AP500×600	85.0	83.0	0.0	0	0	0	0.0	支排23号合流工1式
第24号支線排水路		BF250	15.5	0.0	0.0	0	0	1	0.0	支排23号合流工1式
第25号支線排水路		3AP500×600	26.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	支排23号合流工1式
第26号支線排水路		BF250	89.0	70.2	14.6	1	5	2	18.0	
第26-1号支線排水路		BF250	127.1	121.1	0.0	0	7	3	35.9	
第27号支線排水路		BF250	93.0	87.0	0.0	0	7	3	38.6	
第28号支線排水路		BF250	125.5	106.7	17.0	3	3	1	18.3	3型放流工1式
第29号支線排水路		BF250	230.7	209.5	14.6	1	11	1	30.6	支排29号取付工1式
第30号支線排水路		3AP600×800	100.8	96.0	0.0	0	4	0	10.0	支排30号取付工1式、支排30号合流工1式、支排30号合流工1式
第31号支線排水路		BF250	243.1	214.5	9.7	1	27	4	86.5	
第32号支線排水路		BF250	104.9	10.9	0.0	0	21	3	43.8	支排32号流末工
第33号支線排水路		BF250	103.2	91.1	10.9	2	2	0	4.6	
第34号支線排水路		BF250	127.9	46.7	74.0	2	9	2	62.3	
第35号支線排水路		BF250	59.4	51.6	4.8	2	0	4	20.2	
第36号支線排水路		BF250	59.0	56.9	0.0	0	0	0	0.0	1号環境配慮型柵 3ヶ所
第37号支線排水路		BF250	161.1	146.6	14.5	4	0	0	33.0	
第38号支線排水路		BF300	155.0	25.4	6.5	1	4	2	10.3	角だし水路1式 φ700HP
第39号支線排水路		BF250	86.6	79.4	7.2	1	0	0	2.0	

項目 路線名	断面	延長 (m)	製品延長 (m)	暗渠工 (m)	鏡壁 (箇所)	落差工 (箇所)	柵工 (箇所)	法面保護工 (m)	付帯構造物
第40号支線排水路	BF300	462.4	425.8	17.9	2	22	7	90.1	
第41号支線排水路	BF250	12.3	11.4	0.0	0	0	1	8.6	
第42号支線排水路	BF350	3.8	3.8	0.0	0	0	0	0.0	
〃	BF250	143.5	125.8	15.0	0	0	3	38.1	支排42号既設側溝取付工1式
第43号支線排水路	BF250	173.0	157.1	10.1	1	7	2	28.8	
第1号小排水路	BF200	76.1	74.3	0.0	0	3	0	4.0	
第2号小排水路	BF200	25.1	20.9	0.0	0	7	0	11.3	
第3号小排水路	BF200	6.0	6.0	0.0	0	0	0	5.9	
第4号小排水路	BF200	46.0	46.0	0.0	0	0	0	0.0	
第44号支線排水路	BF250	121.9	117.7	0.0	0	4	3	13.5	
第45号支線排水路	VUΦ250	46.5	45.9	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第46号支線排水路	BF450	239.4	215.9	10.9	4	0	3	11.0	仮水路VUφ500
第47号支線排水路	BF250	49.6	40.6	8.4	1	0	1	4.0	
第48号支線排水路	BF350	119.3	111.4	7.3	1	0	1	5.0	
第49号支線排水路	BF250	55.7	52.1	6.2	0	5	1	4.0	支排49号現況取付工
第50号支線排水路	BF250	71.0	70.4	0.0	0	1	0	0.0	
第51号支線排水路	BF250	120.0	71.2	7.3	1	6	2	6.0	角だし水路1、角だし水路2
第52号支線排水路	VUΦ200	64.0	63.5	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第53号支線排水路	BF250	129.0	123.6	0.0	0	8	1	5.0	
第54号支線排水路	BF250	381.0	332.2	86.4	10	9	4	19.0	支排54号現況取付工
第54-1号支線排水路	BF250	69.0	68.4	0.0	0	0	1	3.0	
第55号支線排水路	BF250	145.0	134.3	0.0	0	2	0	0.0	角だし水路3
第56号支線排水路	BF250	117.0	111.6	0.0	0	8	1	3.0	支排56号現況取付工
第57号支線排水路	VUΦ250	86.0	85.4	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第58号支線排水路	BF250	84.0	76.4	0.0	0	0	1	3.0	角だし水路4
合 計		7,654.1	6,634.0	472.6	56	276	86	1,119.7	
支線・小排水路 〔内訳〕	BF200	153.2	147.2	0.0	0	10	0	21.2	
	BF250	5,148.3	4,461.4	387.9	40	226	69	914.9	φ600
	BF300	913.3	742.3	24.4	3	31	12	135.0	φ600
	BF350	123.1	115.2	7.3	1	0	1	5.0	φ700
	BF450	239.4	215.9	10.9	4	0	3	11.0	φ800
	BF600	289.5	254.2	20.2	4	5	1	22.6	φ900
	VUΦ200	64.0	63.5	0.0	0	0	0	0.0	
	VUΦ250	132.5	131.3	0.0	0	0	0	0.0	
	現場打L型水路	29.8	0.0	0.0	0	0	0	0.0	
	3AP500×600	111.7	83.0	0.0	0	0	0	0.0	
	3AP500×800	347.1	324.0	21.9	4	0	0	0.0	
	3AP600×800	100.8	96.0	0.0	0	4	0	10.0	
	-	1.4	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅員 (有効) (m)	× 延長 (m)	敷砂利延長 (m)	取合舗装		備考
支線道路	第1号支線道路	5.0 (4.0)	× 341	341	0		
	第2号支線道路	4.0 (3.0)	× 111	111	0		
	第3号支線道路	4.0 (3.0)	× 128	128	0		
	第4号支線道路	4.0 (3.0)	× 57	57	0		
	第5号支線道路	5.0 (4.0)	× 386	376	1		
	第6号支線道路	4.0 (3.0)	× 68	58	1		
	第7号支線道路	4.0 (3.0)	× 150	140	1		
	第8号支線道路	4.0 (3.0)	× 105	105	0		
	第9号支線道路	5.0 (4.0)	× 294	284	1		
	第10号支線道路	4.0 (3.0)	× 378	368	1		
	第11号支線道路	4.0 (3.0)	× 41	0	0		CON舗装 41 m
	第12号支線道路	4.0 (3.0)	× 48	48	0		
	第13号支線道路	4.0 (3.0)	× 85	85	0		
	第14号支線道路	5.0 (4.0)	× 493	483	1		
	第15号支線道路	4.0 (3.0)	× 109	99	1		
	第16号支線道路	4.0 (3.0)	× 253	253	0		
	第17号支線道路	4.0 (3.0)	× 234	234	0		
	第18号支線道路	4.0 (3.0)	× 55	45	1		
	第19号支線道路	4.0 (3.0)	× 254	244	1		
	第20号支線道路	4.0 (3.0)	× 134	134	0		
	第21号支線道路	4.0 (3.0)	× 188	188	0		
	第22号支線道路	4.0 (3.0)	× 198	188	1		
	第23号支線道路	5.0 (4.0)	× 509	0	1		As舗装 499 m
	第24号支線道路	5.0 (4.0)	× 181	181	0		
	第25号支線道路	4.0 (3.0)	× 250	250	0		
	第26号支線道路	4.0 (3.0)	× 238	238	0		
	第27号支線道路	4.0 (3.0)	× 182	182	0		
	第28号支線道路	4.0 (3.0)	× 326	326	0		
	第29号支線道路	4.0 (3.0)	× 99	79	2		
	第30号支線道路	4.0 (3.0)	× 107	97	1		
	第31号支線道路	4.0 (3.0)	× 98	88	1		
	第32-1号支線道路	4.0 (3.0)	× 162	162	0		
	第32-2号支線道路	5.0 (4.0)	× 368	0	0		As舗装 368 m
	第33号支線道路	4.0 (3.0)	× 155	0	0		As舗装 155 m
	第34号支線道路	4.0 (3.0)	× 88	78	1		
	第35号支線道路	4.0 (3.0)	× 93	83	1		
	第36号支線道路	4.0 (3.0)	× 35	25	1		
	第37号支線道路	4.0 (3.0)	× 108	98	1		

路線名	項目	幅員 (有効) (m)	× 延長 (m)	敷砂利延長 (m)	取合舗装	備考
支線道路	第38号支線道路	5.0 (4.0)	× 71	51	2	
	第40号支線道路	4.0 (3.0)	× 281	261	2	
	第41号支線道路	4.0 (3.0)	× 195	185	1	
	第42号支線道路	4.0 (3.0)	× 177	132	3	As舗装(拡幅) 15 m
	第43号支線道路	4.0 (3.0)	× 178	178	0	
	第44号支線道路	4.0 (3.0)	× 259	259	0	
	第45号支線道路	4.0 (3.0)	× 183	0	0	路盤工(拡幅) 183 m
	第46号支線道路	4.0 (3.0)	× 154	116	0	As舗装 38 m
	第47号支線道路	4.0 (3.0)	× 262	228	0	既設拡幅 34 m
	第48号支線道路	4.0 (3.0)	× 92	92	0	
	第49号支線道路	4.0 (3.0)	× 99	89	1	
	第50号支線道路	4.0 (3.0)	× 46	46	0	
	第51号支線道路	4.0 (3.0)	× 51	41	1	
通作道路	第1号通作道路	3.0 (2.5)	× 52	52	0	
	第1-1号通作道路	3.0 (2.5)	× 50	50	0	
	第2号通作道路	3.0 (2.5)	× 39	39	0	
	第2-1号通作道路	3.0 (2.5)	× 238	238	0	
	第3号通作道路	3.0 (2.5)	× 46	46	0	
	第3-1号通作道路	3.0 (2.5)	× 179	179	0	
	第4号通作道路	3.0 (2.5)	× 47	47	0	
	第4-1号通作道路	3.0 (2.5)	× 50	50	0	
	第5号通作道路	3.0 (2.5)	× 69	69	0	
	第6号通作道路	3.0 (2.5)	× 64	64	0	
	第7号通作道路	3.0 (2.5)	× 83	83	0	
	第8号通作道路	3.0 (2.5)	× 41	41	0	
	第9号通作道路	3.0 (2.5)	× 61	61	0	
合 計			10,176	8,553	29	
支線道路〔内訳〕		5.0 (4.0)	× 2,643	1,716	6	
		4.0 (3.0)	× 6,514	5,818	23	
通作道路〔内訳〕		3.0 (2.5)	× 1,019	1,019	0	

- (2) 索道 該当なし
2. 路線配置図 該当なし
- 第6節 農用地造成計画 該当なし
- 第7節 洪水調節計画 該当なし
- 第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

30a(又は20a)以上			30a(又は20a)未満				全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考 傾斜区分
長辺×短辺 (m) (m)	区画面積 (a)	面積 (ha)	長辺×短辺 (m) (m)	区画面積 (a)	面積 (ha)	面積(畑) (ha)				
40 × 75	30	0.9	60 × 40	24	5.0	-	5.9	11.0	-	1/20以上
40 × 75	30 (60)	21.6	60 × 40	24	10.2	2.2	34.0	63.7	-	1/20~1/100
40 × 75	30 (60)	4.1	60 × 40	24	0.7	-	4.8	9.0	-	1/100~1/300
40 × 75	30 (60)	6.6	60 × 40	24	2.1	-	8.7	16.3	-	1/300~
計		33.2			18.0	2.2	53.4	100.0	-	

(2) 表土扱い

(第16表-2)

計画地目	面積	表土扱い要否の理由	扱い深	扱い土量	土壌区分	番号	備考
田・畑	10.1	地力保全	15 cm	15,150 m ³	グライ土壌壤土(亜)型	E43	
田・畑	27.6	地力保全	15 cm	41,400 m ³	黄褐色土壌強粘土マンガン型	I80	
田・畑	4.2	地力保全	15 cm	6,300 m ³	黄褐色土壌粘土(亜)型	I82	
田・畑	6.5	地力保全	15 cm	9,750 m ³	礫質土壌粘土(亜)型	J91	
田・畑	5.0	地力保全	15 cm	7,500 m ³	黄褐色土壌壤土マンガン型	I83	
計	53.4			80,100 m ³			

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (%s/ha)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備 考
	事業名							
	農地整備事業 (経営体育成型)							
		2.7	E43	50	5.79	0.50	自然排水	

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 農地保全 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工 該当なし

3. 揚水機

(第17表-3)

名 称	項 目	位 置	揚 水 量 (m^3/s)	揚 程 (m)		揚水機					備 考
				全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	原 動 機 型 式	動 力 (kW)	
一号池揚水機場		一号池北側	0.029	8.0	4.1	水中ポンプ	$\phi 150$	2	乾式水中	7.5	
〃		一号池南側	0.084	8.0	2.1	水中ポンプ	$\phi 150$	2	乾式水中	11.0	
東澤池揚水機場		東澤池	0.080	18.0	11.5	水中ポンプ	$\phi 150$	2	乾式水中	18.5	
二号池揚水機場		二号池	0.244	10.0	3.4	水中ポンプ	$\phi 150$	2	乾式水中	11.0	

4. 用水路

(第17表-4)

路線名	項目	断面	延長 (m)	制水工 (箇所)	空気工 (箇所)	排泥工 (箇所)	備 考
第1号支線用水路		VUΦ300	132.4	0	0	0	
第2号支線用水路		VUΦ75	99.1	0	0	0	
第3号支線用水路		VUΦ150	5.0	1	0	0	
"		VUΦ100	116.4	0	0	0	
第4号支線用水路		VUΦ300	139.5	1	1	0	
"		VUΦ250	69.0	1	0	1	
第5号支線用水路		VUΦ200	0.7	0	0	0	
"		VUΦ150	25.7	1	0	0	
"		VUΦ100	100.4	0	0	1	
第6号支線用水路		VUΦ250	281.9	3	0	1	県道横断工99.4m
第7号支線用水路		VUΦ250	28.0	0	0	0	
第8号支線用水路		VUΦ250	52.6	0	1	0	
第9号支線用水路		VUΦ200	37.1	1	0	0	
"		VUΦ150	42.2	0	0	0	
"		VUΦ100	58.8	0	0	1	
第10号支線用水路		VUΦ150	9.7	1	0	0	
"		VUΦ100	1.0	0	0	0	
"		VUΦ75	41.5	0	0	0	
第11号支線用水路		VUΦ250	118.2	1	0	0	
第12号支線用水路		VUΦ150	53.5	1	0	0	
"		VUΦ100	8.5	0	1	0	
第13号支線用水路		VUΦ250	76.8	0	0	1	
第14号支線用水路		VUΦ250	1.0	0	0	0	
"		VUΦ200	166.7	1	1	0	
"		VUΦ150	41.6	0	0	0	
"		VUΦ100	102.7	0	0	0	
第15号支線用水路		VUΦ250	171.9	1	1	0	
"		VUΦ200	7.4	0	0	0	
"		VUΦ150	16.1	0	0	0	
"		VUΦ100	85.5	0	1	0	
"		VUΦ75	11.0	0	0	1	
第17号支線用水路		VUΦ250	258.0	0	1	0	
第18号支線用水路		VUΦ250	112.0	1	0	0	
"		VUΦ200	68.0	0	0	0	
"		VUΦ150	51.0	1	0	0	
"		VUΦ100	133.0	1	1	0	
"		VUΦ75	236.0	0	0	0	
第18-1号支線用水路		VUΦ150	37.0	0	0	0	
"		VUΦ100	1.0	0	0	0	
"		VUΦ75	62.0	0	0	0	
第19号支線用水路		VUΦ250	345.0	1	1	0	
第20号支線用水路		VUΦ250	6.0	1	0	0	
"		VUΦ200	1.0	0	0	0	
"		VUΦ150	1.0	0	0	0	
"		VUΦ100	46.0	0	0	0	
第21号支線用水路		VUΦ200	370.7	1	0	1	DCIP:L=91.7m
第22号支線用水路		VUΦ200	2.0	1	0	0	
"		VUΦ150	32.8	0	1	0	

路 線 名	項 目	断面	延 長 (m)	制水工 (箇所)	空気工 (箇所)	排泥工 (箇所)	備 考
"	"	VUΦ100	121.0	1	0	1	
第23号支線用水路	"	VUΦ150	60.9	1	1	0	
"	"	VUΦ100	60.9	0	0	0	
"	"	VUΦ75	21.9	0	0	0	
第24号支線用水路	"	VPΦ300	111.0	0	0	0	
"	"	VUΦ300	62.0	0	0	0	
第25号支線用水路	"	VUΦ300	370.0	0	1	0	
"	"	VUΦ250	46.0	0	1	0	
第26号支線用水路	"	VUΦ250	53.0	1	0	1	
第27号支線用水路	"	VUΦ200	131.0	1	1	0	
"	"	VUΦ150	59.0	0	0	0	
"	"	VUΦ100	64.0	0	0	0	
第28号支線用水路	"	VUΦ250	2.0	0	0	0	
"	"	VUΦ200	177.8	1	1	0	DCIP:L=50.2m
"	"	VPΦ200	63.7	0	0	0	
第29号支線用水路	"	VUΦ200	0.6	0	0	0	
"	"	VUΦ150	177.2	1	0	0	
"	"	VUΦ100	1.0	0	0	0	
"	"	VUΦ75	1.0	0	0	0	
第30号支線用水路	"	VUΦ150	93.3	1	0	0	
"	"	VUΦ100	0.3	0	0	0	
"	"	VUΦ75	79.2	0	0	0	
第32号支線用水路	"	VUΦ250	54.0	1	0	0	
第33号支線用水路	"	VUΦ250	50.0	1	1	0	
"	"	VUΦ200	116.0	0	0	0	
"	"	VUΦ150	1.0	0	0	0	
第34号支線用水路	"	VUΦ250	2.0	0	0	0	
"	"	VUΦ200	466.5	1	3	0	
"	"	VUΦ150	209.2	0	2	1	
"	"	VUΦ100	133.6	0	0	0	
第34-1号支線用水路	"	VUΦ200	2.5	0	0	0	
"	"	VUΦ150	4.1	0	0	0	
"	"	VUΦ125	86.7	1	0	0	
第35号支線用水路	"	VUΦ250	472.1	0	1	0	
"	"	VUΦ200	68.6	0	1	0	
"	"	VUΦ150	129.6	0	0	0	
"	"	VUΦ75	16.9	0	0	0	
第36号支線用水路	"	VUΦ250	206.4	0	0	0	
第37号支線用水路	"	VPΦ100	5.2	1	0	0	
"	"	VPΦ75	46.6	0	0	0	
第38号支線用水路	"	VUΦ250	96.9	1	1	0	
第39号支線用水路	"	VUΦ200	7.2	1	0	0	
"	"	VUΦ150	40.2	0	0	0	
"	"	VUΦ100	33.0	0	0	0	
"	"	VUΦ75	27.1	0	0	1	
第40号支線用水路	"	VUΦ200	7.4	1	0	0	
"	"	VUΦ150	79.9	0	0	0	
第41号支線用水路	"	VUΦ200	138.1	1	1	0	
第42号支線用水路	"	VUΦ100	16.0	1	0	0	

路 線 名	断面	延 長 (m)	制水工 (箇所)	空気工 (箇所)	排泥工 (箇所)	備 考
"	VUΦ75	32.0	0	0	0	
第43号支線用水路	VUΦ200	29.2	1	0	0	
"	VUΦ150	73.1	0	0	0	
"	VPΦ100	42.0	1	0	1	
"	VUΦ100	41.7	1	1	0	
"	VUΦ75	1.0	0	0	0	
第44号支線用水路	VUΦ250	343.0	1	2	0	
第45号支線用水路	VUΦ250	78.4	1	0	1	
第46号支線用水路	VUΦ200	64.4	0	0	0	
"	VUΦ150	45.1	0	1	0	
"	VUΦ125	0.8	0	0	0	
"	VUΦ100	65.8	0	0	0	
第47号支線用水路	VUΦ250	0.3	0	0	0	
"	VUΦ200	91.2	0	0	0	
"	VUΦ150	27.8	0	1	0	
"	VUΦ125	50.5	0	0	0	
第48号支線用水路	VUΦ250	68.4	0	1	0	
第49号支線用水路	VUΦ200	0.5	0	0	0	
"	VUΦ150	47.9	1	1	0	
"	VUΦ125	120.7	0	0	0	
"	VUΦ100	44.1	0	0	0	
"	VUΦ75	38.0	0	0	1	
第50号支線用水路	VUΦ250	204.7	1	1	0	
第52号支線用水路	VUΦ250	160.0	0	0	0	
第53号支線用水路	VUΦ250	9.0	1	0	0	
"	VUΦ200	51.0	0	0	0	
第54号支線用水路	VUΦ150	125.0	0	0	1	
第55号支線用水路	VUΦ150	45.0	0	0	0	
"	VUΦ100	47.0	0	0	0	
第56号支線用水路	VUΦ150	72.0	1	1	0	市道横断L=6m
第57号支線用水路	VUΦ100	73.0	0	0	0	市道横断L=23m: VP管
"	VUΦ75	8.0	0	0	1	
第58号支線用水路	VUΦ150	55.0	0	0	0	市道横断L=2m
"	VUΦ100	29.0	0	1	0	
合 計		10,322.6	46	35	16	
支線用水路 〔内訳〕	VUΦ75	674.7	0	0	4	
	VUΦ100	1,360.7	4	5	3	
	VUΦ125	258.7	1	0	0	
	VUΦ150	1,660.9	10	8	2	
	VUΦ200	2,005.6	11	8	1	
	VUΦ250	3,366.6	17	12	5	
	VUΦ300	703.9	1	2	0	
	VPΦ75	46.6	0	0	0	
	VPΦ100	70.2	2	0	1	
	VPΦ200	63.7	0	0	0	
	VPΦ300	111.0	0	0	0	
雁戸井水路	BOX 2000×1500	291.2				

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし
2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

路線名	項目 断面	延長 (m)	製品延長 (m)	暗渠工 (m)	鏡壁 (箇所)	落差工 (箇所)	井上 (箇所)	法面保護工 (m)	付帯構造物
第1号支線排水路	BF250	93.4	71.3	12.2	0	14	2	81.0	森掘り水路
第2号支線排水路	BF250	4.6	4.0	0.0	0	0	1	5.0	1型放流工1式
第3号支線排水路	BF250	85.8	76.3	0.0	0	13	2	33.0	
第4号支線排水路	BF250	416.8	403.5	10.9	2	2	2	55.0	
第5号支線排水路	BF250	190.9	172.5	9.7	3	8	6	41.0	
第6号支線排水路	BF250	19.7	10.0	9.7	1	0	0	0.0	2型放流工
〃	-	0.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路
第7号支線排水路	BF250	13.4	12.8	0.0	0	0	0	3.7	延長 L=0.6mのみ記載
〃	現場HTL型水路	29.8	0.0	0.0	0	0	0	0.0	
第8号支線排水路	BF250	109.1	97.0	10.9	2	0	1	0.0	1型放流工
〃	-	0.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路
第9号支線排水路	BF250	85.6	82.0	0.0	0	6	0	13.8	
第10号支線排水路	BF250	101.8	100.0	0.0	0	3	0	13.6	
第11号支線排水路	BF250	104.6	98.6	0.0	0	9	0	17.2	集水井
第12号支線排水路	BF250	49.0	42.0	3.4	1	5	0	9.5	1型放流工
第13号支線排水路	BF250	110.7	95.3	8.5	0	8	3	36.5	3型放流工
第14号支線排水路	BF250	158.7	132.2	18.6	0	8	4	31.2	3型放流工
第15号支線排水路	BF250	83.8	79.3	3.3	0	0	2	12.8	付帯工 環境型e100、1号型e100計100、ホップe100
第16号支線排水路	BF250	109.7	103.8	0.0	0	2	0	7.3	1号環境配慮型 5個
第17号支線排水路	BF600	289.5	251.2	20.2	4	5	1	22.6	支排17号改定処理工1式、2号環境配慮型 11個
第18号支線排水路	BF300	295.9	291.1	0.0	0	5	3	34.6	1号環境配慮型 11個
第20号支線排水路	BF250	63.7	49.9	0.0	1	0	1	12.5	4号放流工
第21号支線排水路	BF250	49.5	45.9	0.0	0	6	0	12.0	
第22号支線排水路	3AP500×800	347.1	324.0	21.9	4	0	0	0.0	6型放流工1式、支排22号合流工1式
第23号支線排水路	3AP500×600	85.0	83.0	0.0	0	0	0	0.0	支排23号合流工1式
第24号支線排水路	BF250	15.5	0.0	0.0	0	0	1	0.0	支排23号合流工1式
第25号支線排水路	3AP500×600	26.7	0.0	0.0	0	0	0	0.0	支排23号合流工1式
第26号支線排水路	BF250	89.0	70.2	14.6	1	5	2	18.0	
第26-1号支線排水路	BF250	127.1	121.1	0.0	0	7	3	35.9	
第27号支線排水路	BF250	93.0	87.0	0.0	0	7	3	38.6	
第28号支線排水路	BF250	125.5	106.7	17.0	3	3	1	18.3	3型放流工1式
第29号支線排水路	BF250	230.7	209.5	14.6	1	11	1	30.6	支排29号取付工1式
第30号支線排水路	3AP600×800	100.8	96.0	0.0	0	4	0	10.0	環境配慮型 100、1号型 100、ホップ 100
第31号支線排水路	BF250	243.1	214.5	9.7	1	27	4	86.5	
第32号支線排水路	BF250	104.9	10.9	0.0	0	21	3	43.8	支排32号流末工
第33号支線排水路	BF250	103.2	91.1	10.9	2	2	0	4.6	
第34号支線排水路	BF250	127.9	46.7	74.0	2	9	2	62.3	
第35号支線排水路	BF250	59.4	51.6	4.8	2	0	4	20.2	
第36号支線排水路	BF250	59.0	56.9	0.0	0	0	0	0.0	1号環境配慮型 3ヶ所
第37号支線排水路	BF250	161.1	146.6	14.5	4	0	0	33.0	
第38号支線排水路	BF300	155.0	25.4	6.5	1	4	2	10.3	角だし水路1 1式 φ700HP
第39号支線排水路	BF250	86.6	79.4	7.2	1	0	0	2.0	

項目 路線名	断面	延長 (m)	製品延長 (m)	暗渠工 (m)	鏡壁 (箇所)	落差工 (箇所)	掘工 (箇所)	法面保護工 (m)	付帯構造物
第40号支線排水路	BF300	462.4	425.8	17.9	2	22	7	90.1	
第41号支線排水路	BF250	12.3	11.4	0.0	0	0	1	8.6	
第42号支線排水路	BF350	3.8	3.8	0.0	0	0	0	0.0	
〃	BF250	143.5	125.8	15.0	0	0	3	38.1	支排42号既設側溝取付工1式
第43号支線排水路	BF250	173.0	157.1	10.1	1	7	2	28.8	
第1号小排水路	BF200	76.1	74.3	0.0	0	3	0	4.0	
第2号小排水路	BF200	25.1	20.9	0.0	0	7	0	11.3	
第3号小排水路	BF200	6.0	6.0	0.0	0	0	0	5.9	
第4号小排水路	BF200	46.0	46.0	0.0	0	0	0	0.0	
第44号支線排水路	BF250	121.9	117.7	0.0	0	4	3	13.5	
第45号支線排水路	VUΦ250	46.5	45.9	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第46号支線排水路	BF450	239.4	215.9	10.9	4	0	3	11.0	仮水路VUφ500
第47号支線排水路	BF250	49.6	40.6	8.4	1	0	1	4.0	
第48号支線排水路	BF350	119.3	111.4	7.3	1	0	1	5.0	
第49号支線排水路	BF250	55.7	52.1	6.2	0	5	1	4.0	支排49号現況取付工
第50号支線排水路	BF250	71.0	70.4	0.0	0	1	0	0.0	
第51号支線排水路	BF250	120.0	71.2	7.3	1	6	2	6.0	角だし水路1、角だし水路2
第52号支線排水路	VUΦ200	64.0	63.5	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第53号支線排水路	BF250	129.0	123.6	0.0	0	8	1	5.0	
第54号支線排水路	BF250	381.0	332.2	86.4	10	9	4	19.0	支排54号現況取付工
第54-1号支線排水路	BF250	69.0	68.4	0.0	0	0	1	3.0	
第55号支線排水路	BF250	145.0	134.3	0.0	0	2	0	0.0	角だし水路3
第56号支線排水路	BF250	117.0	111.6	0.0	0	8	1	3.0	支排56号現況取付工
第57号支線排水路	VUΦ250	86.0	85.4	0.0	0	0	0	0.0	管排水路
第58号支線排水路	BF250	84.0	76.4	0.0	0	0	1	3.0	角だし水路4
合 計		7,654.1	6,634.0	472.6	56	276	86	1,119.7	
支線・小排水路 〔内訳〕	BF200	153.2	147.2	0.0	0	10	0	21.2	
	BF250	5,148.3	4,461.4	387.9	40	226	69	914.9	φ600
	BF300	913.3	742.3	24.4	3	31	12	135.0	φ600
	BF350	123.1	115.2	7.3	1	0	1	5.0	φ700
	BF450	239.4	215.9	10.9	4	0	3	11.0	φ800
	BF600	289.5	264.2	20.2	4	5	1	22.6	φ900
	VUΦ200	64.0	63.5	0.0	0	0	0	0.0	
	VUΦ250	132.5	131.3	0.0	0	0	0	0.0	
	現場打L型水路	29.8	0.0	0.0	0	0	0	0.0	
	3AP500×600	111.7	83.0	0.0	0	0	0	0.0	
	3AP500×800	347.1	324.0	21.9	4	0	0	0.0	
	3AP600×800	100.8	96.0	0.0	0	4	0	10.0	
	-	1.4	0.0	0.0	0	0	0	0.0	現場打取合水路

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

路線名	項目	幅員 (有効) (m)	× 延長 (m)	敷砂利延長 (m)	取合舗装		備考
支線道路	第1号支線道路	5.0 (4.0)	341	341	0		
	第2号支線道路	4.0 (3.0)	111	111	0		
	第3号支線道路	4.0 (3.0)	128	128	0		
	第4号支線道路	4.0 (3.0)	57	57	0		
	第5号支線道路	5.0 (4.0)	386	376	1		
	第6号支線道路	4.0 (3.0)	68	58	1		
	第7号支線道路	4.0 (3.0)	150	140	1		
	第8号支線道路	4.0 (3.0)	105	105	0		
	第9号支線道路	5.0 (4.0)	294	284	1		
	第10号支線道路	4.0 (3.0)	378	368	1		
	第11号支線道路	4.0 (3.0)	41	0	0		CON舗装 41 m
	第12号支線道路	4.0 (3.0)	48	48	0		
	第13号支線道路	4.0 (3.0)	85	85	0		
	第14号支線道路	5.0 (4.0)	493	483	1		
	第15号支線道路	4.0 (3.0)	109	99	1		
	第16号支線道路	4.0 (3.0)	253	253	0		
	第17号支線道路	4.0 (3.0)	234	234	0		
	第18号支線道路	4.0 (3.0)	55	45	1		
	第19号支線道路	4.0 (3.0)	254	244	1		
	第20号支線道路	4.0 (3.0)	134	134	0		
	第21号支線道路	4.0 (3.0)	188	188	0		
	第22号支線道路	4.0 (3.0)	198	188	1		
	第23号支線道路	5.0 (4.0)	509	0	1		As舗装 499 m
	第24号支線道路	5.0 (4.0)	181	181	0		
	第25号支線道路	4.0 (3.0)	250	250	0		
	第26号支線道路	4.0 (3.0)	238	238	0		
	第27号支線道路	4.0 (3.0)	182	182	0		
	第28号支線道路	4.0 (3.0)	326	326	0		
	第29号支線道路	4.0 (3.0)	99	79	2		
	第30号支線道路	4.0 (3.0)	107	97	1		
	第31号支線道路	4.0 (3.0)	98	88	1		
	第32-1号支線道路	4.0 (3.0)	162	162	0		
	第32-2号支線道路	5.0 (4.0)	368	0	0		As舗装 368 m

路線名	項目	幅員 (有効) (m)	× 延長 (m)	敷砂利延長 (m)	取合舗装		備考
支線道路	第33号支線道路	4.0 (3.0)	155	0	0		As舗装 155 m
	第34号支線道路	4.0 (3.0)	88	78	1		
	第35号支線道路	4.0 (3.0)	93	83	1		
	第36号支線道路	4.0 (3.0)	-35	25	1		
	第37号支線道路	4.0 (3.0)	108	98	1		
	第38号支線道路	5.0 (4.0)	71	51	2		
	第40号支線道路	4.0 (3.0)	281	261	2		
	第41号支線道路	4.0 (3.0)	195	185	1		
	第42号支線道路	4.0 (3.0)	177	132	3		As舗装(拡幅) 15 m
	第43号支線道路	4.0 (3.0)	178	178	0		
	第44号支線道路	4.0 (3.0)	259	259	0		
	第45号支線道路	4.0 (3.0)	183	0	0		路盤工(拡幅) 183 m
	第46号支線道路	4.0 (3.0)	154	116	0		As舗装 38 m
	第47号支線道路	4.0 (3.0)	262	228	0		既設拡幅 34 m
	第48号支線道路	4.0 (3.0)	92	92	0		
	第49号支線道路	4.0 (3.0)	99	89	1		
	第50号支線道路	4.0 (3.0)	46	46	0		
	第51号支線道路	4.0 (3.0)	51	41	1		
通作道路	第1号通作道路	3.0 (2.5)	52	52	0		
	第1-1号通作道路	3.0 (2.5)	50	50	0		
	第2号通作道路	3.0 (2.5)	39	39	0		
	第2-1号通作道路	3.0 (2.5)	238	238	0		
	第3号通作道路	3.0 (2.5)	46	46	0		
	第3-1号通作道路	3.0 (2.5)	179	179	0		
	第4号通作道路	3.0 (2.5)	47	47	0		
	第4-1号通作道路	3.0 (2.5)	50	50	0		
	第5号通作道路	3.0 (2.5)	69	69	0		
	第6号通作道路	3.0 (2.5)	64	64	0		
	第7号通作道路	3.0 (2.5)	83	83	0		
	第8号通作道路	3.0 (2.5)	41	41	0		
	第9号通作道路	3.0 (2.5)	61	61	0		
合 計			10,176	8,553	29		
支線道路〔内訳〕		5.0 (4.0)	× 2,643	1,716	6		
		4.0 (3.0)	× 6,514	5,818	23		
通作道路〔内訳〕		3.0 (2.5)	× 1,019	1,019	0		

(2) 道路主要構造物 該当なし

2. 索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
雁戸井	53.4 ha	40×75 30a	-	53.4 ha	80,100 m ³	
計	53.4 ha	40×75 30a	-	53.4 ha	80,100 m ³	

(2) 末端用水路等 該当なし

(3) 末端排水路等 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)	集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事業名	勾 配	管 種	管 径	延 長	勾 配	管 種	管 径	深 さ	間 隔	延 長	名称	構造	数 量	
	農地整備事業 (経営体育成型)			(mm)	(m/ha)			(mm)	(m)	(m)	(m/ha)			(m/ha)	
E43	2.7	1/500	塩ビ管	100	95	1/500	ポリエチレン 有孔管	50,65	0.6	10	944	支排	BF	100	

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

工事の予定期間

工事着手 平成 27 年 10 月

工事完了予定 令和 8 年 3 月

第8章 環境との調和への配慮

1. 基本方針

地域の実情や上位計画を踏まえて、地域の農業農村地域においてめざすべき環境像を「水辺・田園・歴史がおりなすハーモニーパーク加古川」として設定し、市域に残る自然環境を保全するとともに、水と緑のネットワーク化を図るなど、人と自然が調和した環境の実現に向けて取り組むものとする。

環境保全目標 「加古川に育まれた田園居住都市」（水辺・田園・歴史がおりなすハーモニー）

- ① 多種多様な生態系を育む水辺環境の保全、復元
- ② うるおいとやすらぎ、生産を育む田園環境の創出
- ③ 歴史を育む文化財や伝統的ため池の保全と活用

2. 当該地域の生態系の現況

当地域の特徴はかつての日本の農村地帯に見られた雑草と呼ばれる身近な植物が相当見られる環境で、一般的な在来植物であっても多種多様生育している、生育ポテンシャルの高いところである。

県道より北側はとりわけ自然度の高い、豊かで多様性に富んだ環境として工事に際してはより配慮を要する。
なかでもオグルマの生育する場所は特に重要で、県下でも有数の生育地として地域の財産となるべきものである。
さらには張り巡らされた水路にはメダカを含め、いろんな動物の生息場所として重要である。

3. 当該地区における環境配慮の方法

畦の貴重植物が生育可能な環境を復元するため、植物が生育している現況表土を施工後の畦の土として利用する。
水路内の小動物が生息可能な空間を設けるため、小魚等が休息できるビオトープ池と柵の設置や、水路からの脱出経路となる斜路等を設置する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

当地区は、不整形で分散する農地を整備し、道水路を新設するほ場整備事業とあいまって換地計画により農地の集団化を強化し、農業の機械化と経営の合理化を図ることによって農業構造の改善に資するものとする。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全区	兵庫県 加古川市 八幡町 (上西条、中西条、下村)	70.0

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
全区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。 但し、土地改良事業計画確定の日から3か月以内に測量士・測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接地所有者の筆界確認書等を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。 自小作調整による従前地地積の変動は、地主小作双方合意のうえ農業委員会に受理されたもので、自小作解消の申し出のあった土地について申し出の地積により従前地地積を調整するものとする。 既に買収又は寄付による道路・水路等で、所有権移転登記未了の土地は、その土地の所有者の同意を得て、従前の土地の対象としない。

2. 用途別予定地積

(単位: ha)

(第25表-3)

用途別予定地積

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地					一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山林・ 原野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地 (令第1条 の9()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農業経営 合理化 施設用地	生活上・ 経営上 必要な 施設用地	公用・公 共用 施設用地	宅 地 等	計								
全区	従前の 土地	56.8	1.6	0.6	-	3.4	-	3.4	62.4	-	-	-	-	62.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	1.6	7.6	-	70.0	
	換地	51.2	2.2	-	-	3.4	-	3.4	56.8	5.0	-	5.0	-	61.8	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	0.2	-	6.0	2.0	8.0	-	70.0	
合計	従前の 土地	56.8	1.6	0.6	-	3.4	-	3.4	62.4	-	-	-	-	62.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	1.6	7.6	-	70.0	
	換地	51.2	2.2	-	-	3.4	-	3.4	56.8	5.0	-	5.0	-	61.8	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	0.2	-	6.0	2.0	8.0	-	70.0	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱
全区		(1) 事業計画において、定められた土地利用区域毎、及び畑団地の設定を行う。 (2) 集落営農組織への農地の利用集積を図る。	従前地の密集した位置を中心に換地	1戸当たりの目標団地数は、概ね1~2団地を目標とする。 $\frac{621-376}{621-258} \times 100 = 67.5\%$ P: 従前地の団地数 621 Q: 換地の団地数 376 N: 農家戸数 258	1. 畦畔は、固定畦畔とする。 2. 分割田(共有田)は、利用集積のため原則として畦畔は設けず、境界杭のみとする。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他
全 区	非-1 農家用倉庫	加古川市八幡町上西条	143	異種目換地	従前地所有者	令和7年度
	非-2 農家住宅	加古川市八幡町上西条	500	異種目換地	従前地所有者	令和7年度
	非-4 農家住宅	加古川市八幡町中西条	500	異種目換地	従前地所有者	令和7年度
	非-5 農家住宅	加古川市八幡町中西条	500	異種目換地	従前地所有者	令和7年度
計			1,643			
内 訳	換地の手法別			異種目換地		1,643 ㎡
	計					1,643 ㎡
	用 途 別			農家住宅		1,500 ㎡
				農家用倉庫		143 ㎡
	計					1,643 ㎡

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

条件差差積清算方式（標準地より増減点方式）

- (1) 従前土地の評価は、特殊地の区域を除き標準地とし、価額は一律とする。
標準地の評価額は、評価基準で定める。
特殊地の1㎡当たり価額は、標準地の1㎡当たりの単価に各特殊地の評価点数を乗じて算定する。
- (2) 換地の土地評価は、特殊地の区域を除き標準地とし、価額は一律とする。
標準地の値価額は、評価基準で定める。
特殊地の1㎡当たり価額は、標準地の1㎡当たりの単価に各特殊地の評価点数を乗じて算定する。
- (3) 従前の土地及び換地の各筆の評価額は、従前の土地又は換地の地積にその土地の1㎡当たりの価額を乗じて算定する。

2. 清算の方法

条件差差積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換 地 区 名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換地処分予定年度	備 考
全 区	平成28年度 ～ 令和7年度	令和7年度	令和7年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条2項本文の規定にかかわらず換地処分を行うことが出来るものとする。

換地事務処理体制

選 定 事 務				処 分 事 務		
換地区名	直 営 ・ 委 託 の 区 分 及 び 項 目	担 当 者 (委託者)	着 手 の 時 期	直営・委託の 区分及び項目	担 当 者 (委託者)	完了の時期
全区	委託 基礎調査 換地設計 計画原案作成 一時利用地の指定	換地業者 加古川市雁戸井 土地改良区	工事着手年度 平成28年度 選定事務着手年度 平成26年度	委託 換地計画書の作成 字界変更 代位登記 処分登記	換地業者 加古川市雁戸井 土地改良区	工事完了年度 令和7年度 換地処分年度 令和7年度

換地事務処理体制（機構図）及び処理方針

機 構 図	処 理 方 針
<pre> graph TD District[加古川市雁戸井土地改良区] City[加古川市] Mayor[理事長] Committee[換地評価委員会 部会長外] Operator[委託（換地業者）] Dept[産業経済部 農林水産課] District -.-> 協議・調整 City City --> Dept Mayor --- Committee District --> Operator </pre>	加古川市雁戸井土地改良区の事務所を八幡町船町9番地1に設置しており、事務局と市農林水産課、地元役員との連携を密にする。また、事務局には換地事務の経験者を採用し、土地改良区の運営資金についてもその一部を市拠出金で援助する等、物心両面の援助を考えている。また、換地事務は基本的には外部委託を考えている。

第10章 事業費の総額及び内訳

総額 1,750,350,000 円

(第26表)

区 分	事業費 (千円)
工事費	1,242,000
＜区画整理＞	1,149,000
整地工	350,000
道路工	108,000
用水路工 (支線)	228,000
用水路工 (揚水機場)	236,000
排水路工	217,000
暗渠排水工	10,000
＜用水路＞	93,000
用水路工	93,000
測量試験費	298,000
用地補償費	5,000
換地費	122,000
事業費計	1,667,000
事務費	83,350
総事業費	1,750,350

事務費 = 事業費 × 5 % (県営事業)

第11章 効 用

(単位：千円) (第27表)

事業名	項 目 区 分	年 総 効 果 額 (便 益)			年 総 増 加 農 業 所 得 額			現 況 年 総 農 業 所 得 額	備 考
		全体①+②	区画①	水路②	全体①+②	区画①	水路②		
農 地 整 備 事 業 (経 営 体 育 成 型)	食料の安定供給の確保に関する効果	172,508	100,171	72,337	191,960	102,696	89,264		
	作物生産効果	69,255	3,104	66,151	85,651	5,629	80,022		
	品質向上効果	11,293	-	11,293	11,293	-	11,293		
	営農経費節減効果	97,650	99,013	△1,363	97,650	99,013	△1,363		
	維持管理費節減効果	△5,690	△1,946	△3,744	△2,634	△1,946	△688		
	農業の持続的発展に関する効果	68	68	-	-	-	-		
	耕作放棄防止効果	68	68	-	-	-	-		
	多面的機能の発揮に関する効果	7,774	-	7,774	-	-	-		
	水源かん養効果	623	-	623	-	-	-		
	景観・環境保全効果	7,151	-	7,151	-	-	-		
	その他効果	1,458	1,458	-	-	-	-		
	国産農産物安定供給効果	1,458	1,458	-	-	-	-		
計		181,808	101,697	80,111	191,960	102,696	89,264	114,297	

(備考) 総便益額 (現在価値化)

4,277,429 千円

総費用便益比 1:17

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
県 営	八幡地区農地整備事業（経営体育成型）	兵庫県	231.9	用水路工（パイプライン）L=36.5km 排水路工（横断暗渠192箇所、排水路底張4.2km） 暗渠排水A=6.1ha
国 営	東播用水二期地区国営土地改良事業	農林水産省 （近畿農政局）	7,313 （加古川市177ha）	ダム、揚水機、水路、水管理施設、発電施設
	（主）加古川小野線道路改築事業	兵庫県		地域高規格道路 L=5.2km、一般道事業 L=0.8km

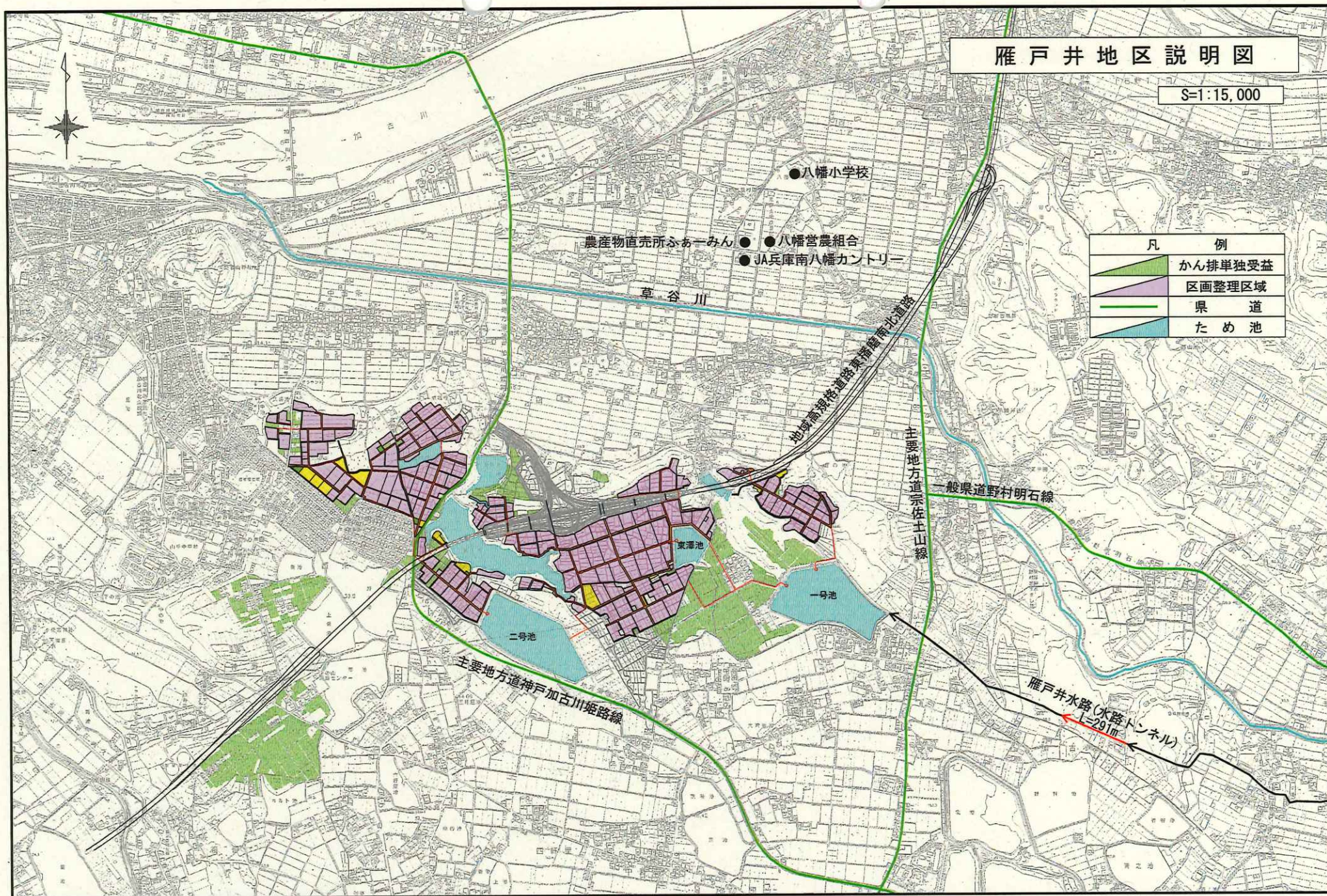
第13章 現況・計画図面

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. 現況平面図 | 別添のとおり |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | 別添のとおり |
| 3. 主要構造図 | 別添のとおり |

雁戸井地区説明図

S=1:15,000

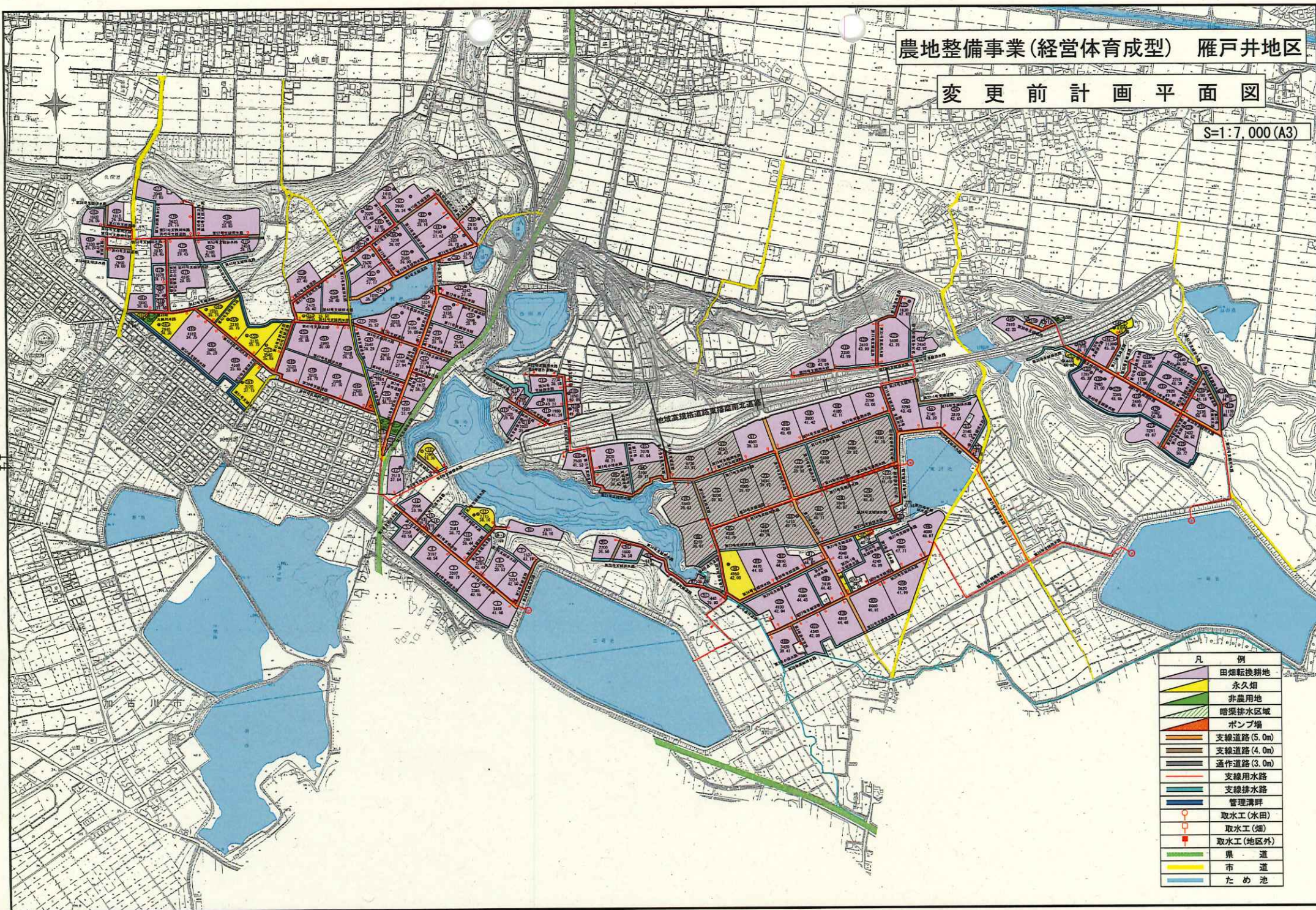
凡	例
	かん排単独受益
	区画整理区域
	県道
	ため池



農地整備事業(経営体育成型) 雁戸井地区

変更前計画平面図

S=1:7,000(A3)



凡 例	
	田畑転換耕地
	永久畑
	非農用地
	暗渠排水区域
	ポンプ場
	支線道路(5.0m)
	支線道路(4.0m)
	通作道路(3.0m)
	支線用水路
	支線排水路
	管理溝等
	取水工(水田)
	取水工(畑)
	取水工(地区外)
	県 道
	市 道
	た め 池

農地整備事業(経営体育成型) 雁戸井地区

変更後計画平面図

S=1:7,000(A3)

